

# 資料 2

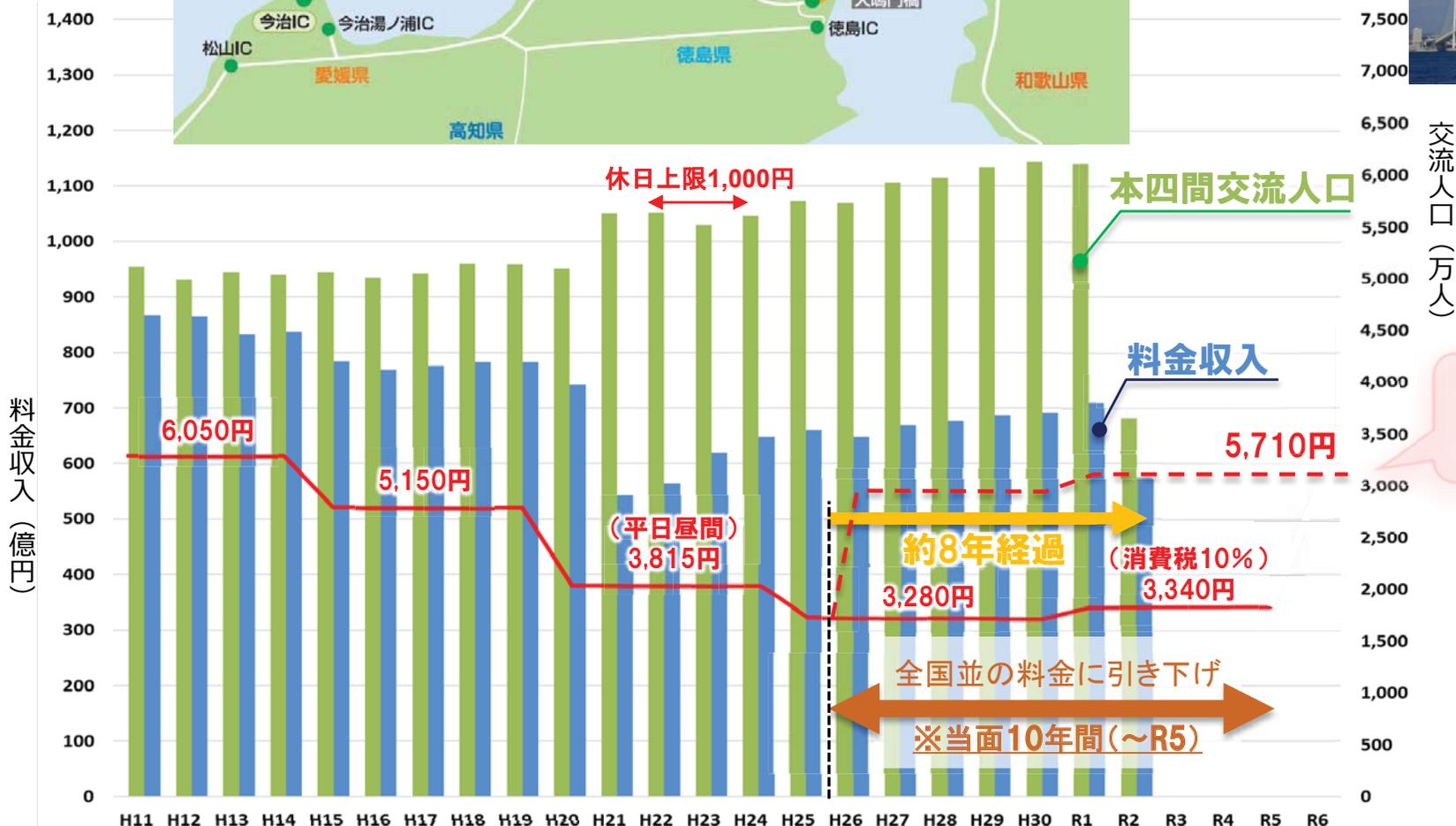
## ～前目標の総括～

○結果報告	-----	2
○各種分析（コロナの影響分析含む）	-----	17
○総括	-----	35

# 結果報告

# 本四高速の料金について

- **本四料金**は、H26.4に**全国共通料金**となった
- これは当面**10年間（～R5）**までの措置、本年度で**8年**が経過



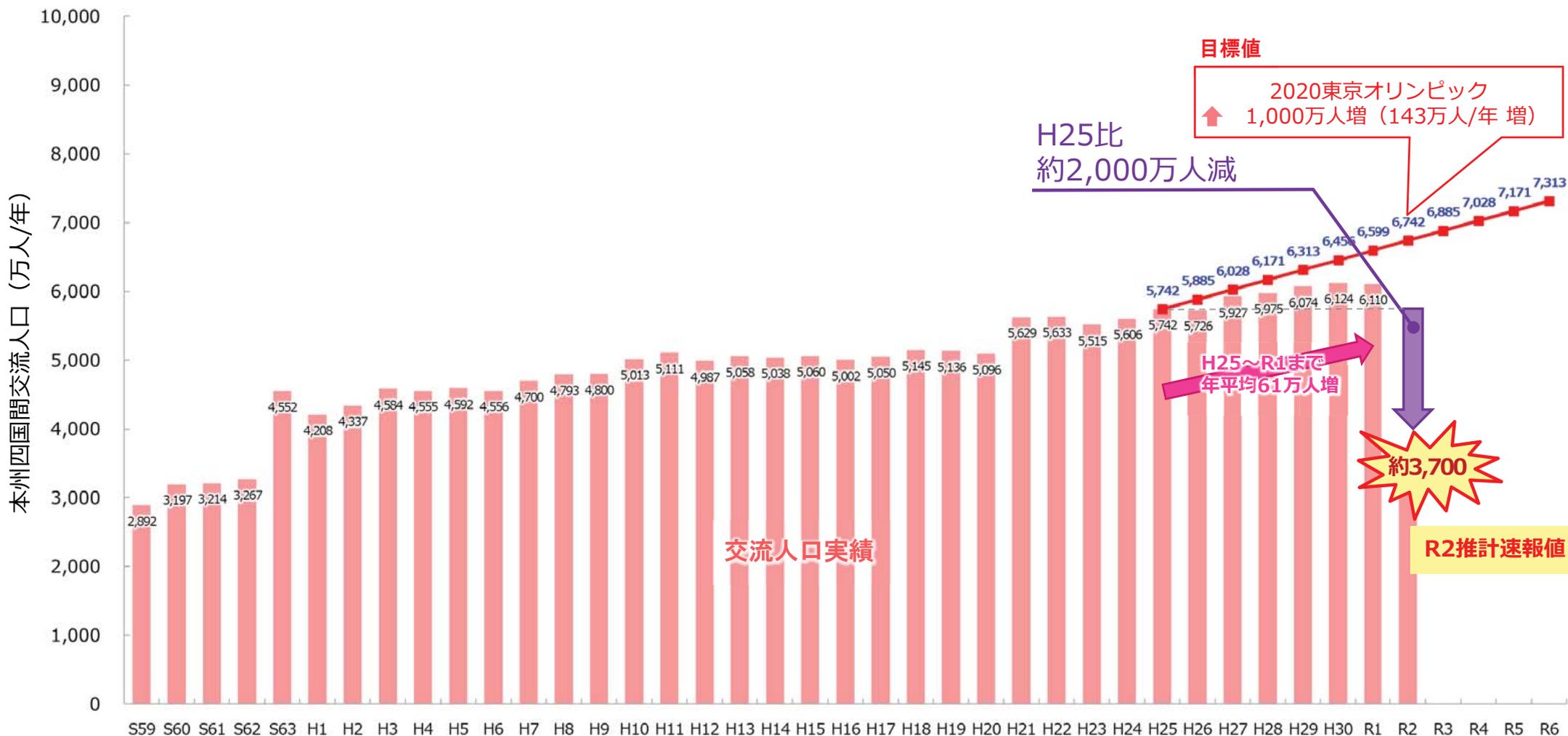
時限措置のない  
場合の料金額

凡例	
本四間交流人口	
料金収入	
通行料金 (神戸西IC～鳴門IC間)	

神戸西IC～鳴門IC間の普通車(ETC利用)の通行料金例

- 目標としていた2020年度の交流人口は**コロナの影響**により**大幅減**
- 目標値 2020年度に H25比 **1,000万人増** ⇒ **コロナ前(R1)までの実績は、約370万人増** (R2はH25比 2,000万人減)
- 目標値の年増加数 **143万人/年増** ⇒ **コロナ前 (R1) までの実績は、61万人/年増**

## ◆交流人口の実績の推移



出典) 本州四国連絡高速道路(株)資料、四国運輸局「業務要覧」等より作成

注; R2年度の交流人口は、推計速報値であり、今後公表されるデータを用いて更新する

取組名称	環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興		
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
<p>◇サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マップ作成</li> <li>・サイクルイベント等出展</li> <li>・セーフティマット設置事業</li> <li>・自転車マナーアップ啓発事業</li> <li>・サイクリストおもてなし・来訪促進事業</li> <li>・サイクリングウェア等作成</li> <li>・しまなみ海道自転車道無料化</li> </ul>	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車通行料が無料されたH26以降、しまなみ海道におけるレンタサイクル貸出台数は、コロナの影響を受けて大幅減となったR2を除いては、増加傾向にあり、R1年には過去最高となるなど、交流人口の拡大や観光振興等による地域活性化に寄与している。</li> <li>・レンタサイクル貸出台数（しまなみ全体）H25→R1：約6.8万台増(82%増)</li> <li>・無料化財源確保のための取組のひとつとして、人気漫画とコラボしたサイクリングウェア等をしまなみ海道沿線限定で販売することで、来訪動機の創出とPRに繋がった。</li> <li>・しまなみ海道サイクリングロードに矢羽根型路面標示を施工し、通行車両からの視認性が向上したことで、より安全なサイクリング環境となった。</li> </ul>	—
<p>◇サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまなみ海道自転車道無料化</li> <li>・おもてなし事業（サイクルフェス出展、マップ作成等）・外国人体験ツアー</li> <li>・しまなみサイクルトレインの運行</li> <li>・サイクルオアシス等への不足機材配布</li> <li>・サイクルオアシス等に対する研修</li> <li>・四国一周サイクリングの推進</li> <li>・「E - B I K E アクション」の推進</li> <li>・しまなみ海道の魅力向上</li> <li>・デジタルマーケティングを活用したサイクリストの誘致促進</li> <li>・しまなみ海道自転車道無料化</li> </ul>	愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記等による利用促進を図ることにより、交流人口増加に貢献。</li> <li>※レンタサイクル貸出台数 約68,000台増（対H25年度比）</li> </ul>	—
<p>◇サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪</p>	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳴門市による「海峡またぎ」事業を開始し、トラック・マイクロバス・路線バスを活用した自転車輸送で、鳴門海峡を渡り、サイクリストのニーズに対応した。</li> </ul>	・更なる地元関係団体の気運醸成。
<p>◇サッカー公式試合での交流促進</p>	愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーの試合観戦客に対ししまなみ海道をPRすることで交流人口増加に貢献。</li> <li>（R1.8.4愛媛FC VS ファジアーノ岡山 観客4,556人）</li> <li>・R2、3年度はコロナの影響によりPRブース出展中止。</li> </ul>	—
	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Jリーグの試合を中心にブース出展し、観光パンフレットを配布するなどのPRの実施により、交流人口増加に貢献。</li> <li>（R1.8.4愛媛FC VS ファジアーノ岡山 観客4,556人）</li> <li>・R2、3年度はコロナの影響によりPRブース出展中止。</li> </ul>	—

取組名称		瀬戸内海の「海」の魅力発信	
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇本四架橋を中心としたインフラツーリズム ・瀬戸大橋スカイツアー	本四高速	・瀬戸大橋スカイツアーは参加機会の増大を目的にR1秋から常設化の試行実施。 ・R2年より通年開催。	・新型コロナ感染症対策の徹底 ・インフラツアーに安心して参加いただくため、感染症対策を徹底したツアー運用を継続する必要がある。
◇インフラツーリズム ・コース設定、マップ作成  ◇民間主導のインフラツーリズムの構築	香川県	◇民間主導のインフラツーリズムの構築 ・協議会HPのバナーを関係機関HPに掲載し、情報発信に努めた。 （香川県内4町、3市町観光協会R3.7現在） ・旅行業協会に対する情報提供やヒアリングを実施したことで課題を把握することができた。 （R3.7現在）	◇民間主導のインフラツーリズムの構築 ・協議会HPのバナーの掲載を関係機関HPに引き続き取組の依頼を継続していく必要がある。 【以下の取組みについては、新型コロナウイルス感染症の影響を見つつ実施を検討する】 ・旅行者に対する説明会、ヒアリング等の開催し、インフラツーリズムを企画ツアーに取り入れてもらえるよう働きかける必要がある。
◇瀬戸内海国立公園ウオーク ・屋島ウオーク ・かがわの自然探検ウオーク		・それぞれの募集定員に対して、屋島ウオークでは2倍、かがわの自然探検ウオークでは7倍以上の応募があった。 ・各小学校へちらしを配布するなど若年層の参加を促したことにより、幅広い年齢層に対し、瀬戸内海国立公園や自然環境への関心を高めることができた。	・コース選定やちらしの構成、配布先などに工夫を加え、より幅広い世代からの参加促進に繋げたい。

取組名称		瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化	
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇歴史的遺産のネットワーク構築とPR ・志国高知 幕末維新博推進事業	高知県	・歴史資源の磨き上げ、食や自然、体験と組み合わせた周遊コース（観光クラスター）の形成。 ・観光クラスターの整備数：15か所。 ・幕末維新博全会場の来場者数：334万人超。 ・H30年の県外観光客人込数は、過去最高の441万人を記録。	・全国的にアクティビティに対する関心が高まる中、これまで磨き上げてきた食や歴史資源を活用しつつ、本県のもう一つの強みである自然とアクティビティを前面に出して展開することが必要。 （H31.2～R3.3まで、自然体験型観光の地力を高めるため、自然&体験キャンペーンを展開）
◇文化芸術ネットワークの推進 ・せとうち美術館ネットワークの取組	本四高速	・認知度向上：せとうち美術館ネットワークホームページのアクセス数が、対前年度比10%増(R1年度)。 ・周遊促進：冊子付属の入館割引券の利用実績が、対前年度比14%増(R1年度)。	・ネットワーク参加施設（81施設）を活用した、更なる交流促進・交流活性化策の取組を進めてゆきたい。

取組名称	環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承		
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
<p>◇食文化PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「誘客キャンペーン」「インバウンド対応」</li> <li>・「御食国淡路島」の推進</li> <li>・「淡路花博花みどりフェア」の開催</li> </ul>	<p>兵庫県</p>	<p>「誘客キャンペーン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心齋橋PARCO（R3年3月9～16日）、銀座蔦屋書店（R3年3月13～27日）において誘客キャンペーンを実施し、淡路の魅力幅広くPRを実施。</li> <li>・楽天トラベルを活用したWEBプロモーションを実施。</li> </ul> <p>「インバウンド対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響によりインバウンド誘客が見込めないことから、淡路島の豊かな自然の風景や文化の映像を8K映像に収めたプロモーション動画を制作し、国内外に淡路島の魅力を発信。</li> </ul> <p>「御食国淡路島の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外へ販路のある国内在住バイヤーを淡路へ招聘するとともに、台湾の食品バイヤーとオンライン商談会を実施し、淡路島と海外の販路拡大を図った。</li> </ul> <p>「淡路花博花みどりフェア」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「淡路花博2015花みどりフェア」において、「海のフードコート」「兵庫県物産フェア」等を開催し、兵庫県の食をPR。</li> <li>※淡路花博2020花みどりフェア（2021年春）においても、「島スイーツガーデン（4/10、11）」を実施。</li> </ul>	<p>「誘客キャンペーン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西圏・首都圏キャンペーンを継続実施し、関西圏の誘客を確保しつつ、首都圏からの宿泊客を着実に取り込んでいく必要がある。</li> </ul> <p>「インバウンド対応」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画サイト等を活用したWEBプロモーションについても積極的に実施し、国内外の観光客の誘客を促進していく。</li> </ul> <p>「御食国淡路島の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「御食国」の兵庫県、福井県、三重県、「都」京都が連携を深め、グルメ情報サイトでの御食国の情報発信など、積極的なプロモーションを行っていく必要がある。</li> </ul> <p>「淡路花博花みどりフェア」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の「淡路花博花みどりフェア」においても、引き続き観光客に魅力ある食のイベントを検討・実施する。</li> </ul>
<p>◇食文化PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島の魅力発信！事業</li> <li>・はな・はる・フェスタ</li> <li>・オーガニック・エコフェスタ</li> <li>・とくしま食育フェスタ</li> <li>・新とくしま観光アプリ</li> <li>・あつまれ「四国のへそ」とくとくフェア</li> </ul>	<p>徳島県</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊浜SAにて環瀬戸内海の食文化パネル展等を実施し、来訪客へPR・交流人口増加に寄与。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフターコロナを見据えた発信・伝承のあり方を検証する必要がある。</li> </ul>

取組名称	高速道路ナンバリング等		
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇年次計画の策定	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度までに県管理道路全ての案内標識で対策を完了。</li> <li>・淡路島内対策箇所：34箇所。（R1年度に淡路島内すべて対策済み）</li> </ul>	—
	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度に高速道路ナンバリング年次計画を策定。</li> <li>・R2年度末までに約7割の整備を完了しており、R3年度末で県内の整備を完了予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在シール貼りにて対応しているため、案内標識更新時には適切なレイアウトデザインを採用する。</li> </ul>
	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備対象標識数の調査（H29年度）</li> <li>・整備計画(年次計画)の策定（H29年度）</li> <li>・整備計画箇所のナンバリング設置完了（R2）</li> </ul>	—
	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29から高速道路IC周辺の標識について、R1までに98箇所全ての改善を完了。</li> </ul>	—
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度に年次計画を策定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続IC及びJCTに関する整備はR2年度で完了。今後は高規格道進捗にあわせ、適時整備を実施する。</li> </ul>
◇印刷物への記載促進	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県発行パンフレットや地図等の更新時にナンバリングを追加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフターコロナによる訪日外国人の増加を想定し、引き続き県発行パンフレット等での掲載を推進。</li> </ul>
	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県の道路施策や整備状況等を広く周知するための資料である「おかやまの道路」の中で、地図上の高速道路にナンバリングを記載。</li> <li>・2020年度版は、約2500部を配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も引き続き実施していく。</li> </ul>
	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県の道路施策やストック効果など道路事業の重要性を広く周知するための資料として作成する「広島県の道路」(H29～)をはじめとし、各種関係資料にナンバリングを記載。</li> </ul>	—
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国等への政策提言資料に積極的に活用。</li> <li>・県及び県が事務局の団体発行のパンフレット（四国8の字ネットワーク等）に活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各資料及びパンフレット等へ活用。</li> </ul>

取組名称	観光地名称を表示した標識		
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇直轄国道以外に拡大	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県管理道路の交差点名標識において観光地名称を表示。</li> <li>・箇所を選定（H30年度）。</li> <li>→淡路島内では対象1箇所（H30年度に完了）</li> <li>→県道志筑郡家線の交差点を観光地名表示「伊弉諾神宮」に変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自治体、地元関係者等との連携によりニーズを把握し、ニーズがあれば改善を推進。</li> </ul>
	岡山県	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元自治体のニーズに応じ岡山県案内標識（観光地）整備マニュアルの改定を行い、現地標識の表示について適宜修正・整備を進めていく。</li> </ul>
	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な観光地において道路案内標識に観光名称を記載しており、H29年度には国道183号（広島県庄原市三日市町）の交差点にて、国営公園の名称を表示した標識に改善している。</li> </ul>	—
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度に県道春野赤岡線に案内標識を設置済。</li> </ul>	—

取組名称	案内の多言語化		
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇英語表記の適正化	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27～30年度に県管理道路全ての案内標識の英語表記の改善が完了（淡路島内シール貼対応：349枚）</li> </ul>	—
	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25～27年度に倉敷市内の県管理道路において道路案内標識の英語表記を改善。</li> <li>・R1年度、岡山県道路標識対策部会において、国土地理院の英語表記を参考に岡山県内景勝地等の英語表記を決定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山県道路標識対策部会において決定した景勝地等の英語表記は、案内標識の更新時・新設時のタイミングで順次整備を進めていく。</li> </ul>
	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な観光地等において英語表記の適正化を実施しており、平成26年度には宮島周辺道路（国道433号等）で英語表記を適正化している。</li> </ul>	—
	徳島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語標識整備：21箇所。</li> <li>・英語表記改善：98箇所。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も適宜、整備。</li> </ul>
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度までに、改善取組予定の案内標識12枚を改善済。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引続き、必要に応じて適時改善していく。</li> </ul>

取組名称	観光地における渋滞緩和		
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇観光地における渋滞対策の検討・対策実施	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)夢舞台、淡路市、本四高速(株)と連携のもと、淡路ハイウェイオアシスに直接乗り入れ可能な「淡路北スマートインターチェンジ」を整備（R2.3.29供用開始）し、淡路IC周辺の渋滞対策を実施</li> <li>・湊交差点にて、R2年度までに交差点改良事業を実施</li> </ul>	—
	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮島口周辺において、観光シーズンの駐車場容量の確保などの対策や混雑回避案内などの対策により、対策前に比べ渋滞長の減少に一定の効果が得られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産宮島の玄関口にふさわしい街づくりを進めているところであり、引き続き来訪者へのおもてなしの観点からストレスを感じさせない駐車場誘導に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.6.19(火)平成30年度第1回高知県渋滞対策検討部会を開催し、主要渋滞区間の対策について検討（はりまや橋～鏡川橋北詰）以下、協議会及び検討部会にて、観光地における渋滞対策等を検討。</li> <li>・H30.9.11(火)平成30年度第21回高知県渋滞対策協議会</li> <li>・H31.3.19(火)平成30年度第22回高知県渋滞対策協議会</li> <li>・R1.7.18(木)令和元年度第1回高知県渋滞対策検討部会</li> <li>・R1.8.26(月)令和元年度第23回高知県渋滞対策協議会</li> <li>・R1.11.6(水)令和元年度第2回高知県渋滞対策検討部会</li> <li>・R2.3.3(金)令和元年度第24回高知県渋滞対策協議会</li> <li>・R2.7.17(金)令和2年度第1回高知県渋滞対策検討部会</li> <li>・R2.8.31(月)令和2年度第25回高知県渋滞対策協議会</li> <li>・R3.3.16(火)令和3年度第26回高知県渋滞対策協議会</li> <li>・R3.6.29(火)令和3年度第27回高知県渋滞対策協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引続き、主要渋滞区間の対策について関係機関と協議を行い、具体的な対策を検討・実施。</li> </ul>

取組名称		利用者目線に沿ったモデル周遊ルートの設定	
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇観光地までのルート、所要時間を案内	岡山県	・観光情報サイト（岡山観光WEB）によりモデルドライブルートを紹介。	—
	広島県	<p>【広島湾域（広島市，呉市等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客目線に立って水上・海上交通の利活用を主眼にMAPを作成（R2年3月）</li> <li>・宇品外貿（第5バース）大型クルーズ客船に対応する岸壁延伸及びクルーズターミナルを整備（～R4）</li> <li>・宇品旅客ターミナル観光案内所をリニューアルし、スタッフによる観光案内や観光地図、観光パンフレット提供、ディスプレイモニターによる瀬戸内の観光情報の動画放映、無料公衆無線LANサービス「Hiroshima Free Wi-Fi」などのサービスを実施（R1年7月～）</li> <li>・JR西日本と瀬戸内海汽船の観光型高速クルーザー「シースピカ」による「瀬戸内しまたびライン」の創設</li> </ul> <p>【宮島口(廿日市市)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮島来島者の利便性向上のため，宮島口旅客ターミナルを供用開始（R2年2月）し、ターミナルに隣接した商業施設「etto」オープン（R2年4月）、旅客ターミナル内に観光案内所を開設（R2年5月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、広島湾域旅客線ネットワーク活用推進協議会において、利用者目線に立った利便性向上や利活用促進について検討していく。</li> <li>・新型コロナウイルスの状況を見ながら、利用促進や受け入れ体制の整備など、必要な対策を講じていく必要がある。</li> </ul>

取組名称		周遊を支援する取組	
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇ドライブパスによる観光振興	NEXCO	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本州－四国間交流人口の増加</li> </ul> <p>販売実績：H29～R1年度平均 約15千件 R2年度 約10千件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様からプラン価格や乗り放題エリアの範囲に対する要望の声</li> </ul> <p>⇒引き続きエリアの見直しなどを実施。</p>

取組名称		「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組	
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇観光客の実態調査	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査実績なし</li> <li>※「道の駅うずしお」→全国道の駅最強ランキング（2021.8）で全国1位</li> <li>※「道の駅あわじ」→じゃらん道の駅満足度ランキング2018で全国1位</li> </ul>	—
	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光担当部局が、県内の外国人旅行者の宿泊者数調査（毎年）や交通動態調査（H29）を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅設置者と調査結果の情報共有を図りながら、必要な対応を検討する。</li> </ul>
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>【県が関係する道の駅20駅（※直轄国道+一体型を除く）への調査結果を元に記載】</li> <li>・目視によるカウント（なぶら土佐佐賀）。</li> <li>・レジ通過者によるカウント（ゆすはら、田野駅屋）。</li> <li>・道の駅周辺が地域の観光拠点として役割を果たすためにランドデザインの策定（動線計画含む）を予定しており、必要な機能を明確化することで、周辺地域の活性化と観光消費額の増大を図る（やす）。</li> <li>・インバウンドレジ通過者数のカウント（よって西土佐）。</li> <li>・H30.10.20高知新港に寄港する外国客船を対象としたモニターツアー実施（なかとさ）。</li> <li>・R1年から土佐れいほく博推進協議会の事業にてAI beacon設置。</li> <li>・R2年度 道路社会実験にて外国人観光客への現地アンケート実施（なかとさ）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大により、国内在住の外国人を対象とした取り組みしかできない状況が続いている。</li> </ul>
◇道の駅での相互連携	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプラリーの実施</li> <li>・R3年度より道の駅カードを販売（県内35駅のうち30駅が参加）→30駅すべて集めれば、府県コンプリートカードがもらえる。</li> <li>※上記はいずれも近畿道の駅連絡会、兵庫県道の駅連絡会による。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、連携した取り組みを進めていく。</li> <li>・HPを活用した事前の情報発信により更なる交流促進に繋げる。</li> </ul>
	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国5県×JAFデジタルスタンプラリーを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国道の駅連絡会等を活用して、引き続き連携した取り組みを進めていく。</li> </ul>
	香川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅連絡会における四国内スタンプラリー2019・2020を実施した。</li> </ul>	—
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国「道の駅」スタンプラリー2017・2018への参加。</li> <li>・四国「道の駅」スタンプラリー2019・2020への参加。</li> <li>・奥伊予街道7駅物語事業への参加（よって西土佐）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大により、県外への移動自粛・臨時休館・時短営業など、事業実施状況が不安定であったため、実施期間を2年延長することとなっている。</li> <li>※四国「道の駅」スタンプラリー2019・2020</li> </ul>

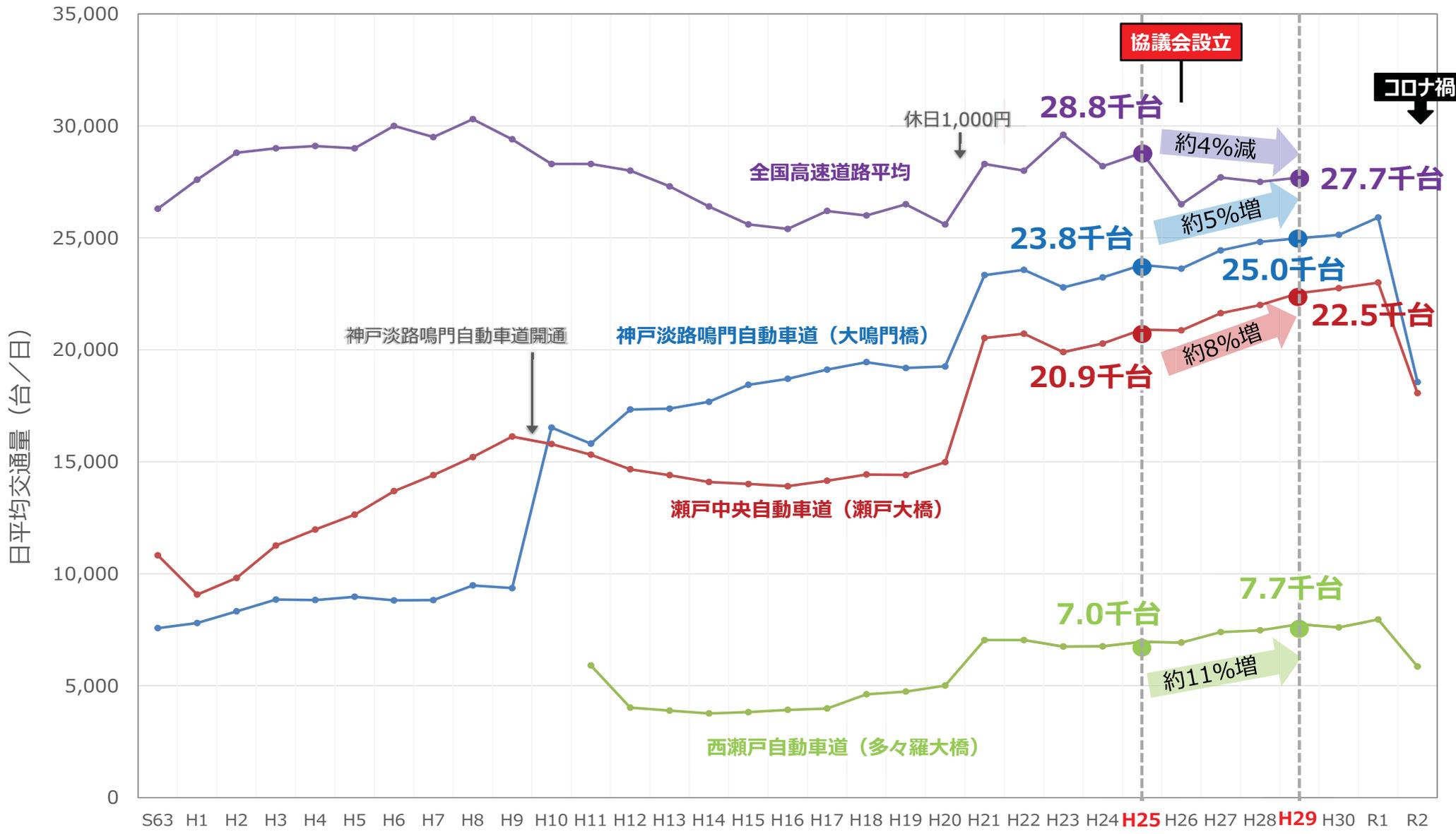
取組名称	「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組		
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇トイレの洋式化、 フリーWiFi設置、 体験型アトラクション等 の充実、 クレジットカード対応、 免税対応、多言語化	兵庫県	・淡路島内の道の駅（「あわじ」「うずしお」「東浦ターミナルパーク」「福良」）において、いずれも洋式トイレは設置済み（洋式化率は4駅全体で62%） ・道の駅あわじにてトイレ改修済み（R1年度） ・淡路島内の道の駅「あわじ」「うずしお」でフリーWi-Fi設置済み。	・社会資本整備総合交付金を活用して、さらに利用者しやすい施設整備を推進。
	岡山県	・Wi-Fiについては、市町村と連携し、県内の全駅で整備済み。 ・県所管のトイレについて、10駅中9駅で洋式化に対応。	・洋式化ができていない1駅の改修を進める。（R3年度完了予定）
	広島県	・H30年に道の駅舞羅IC千代田（北広島町）においてトイレの改修を行い快適性が向上した。	・今後も点検を行い、改修を行う（R4 道の駅 湖畔の里福富を予定）。
	徳島県	【トイレの洋式化・フリーWi-Fi】 ・R1年までに10駅で整備済。 ・R3.4開駅した1駅を合わせ、県管理一体型全11駅は整備完了。	—
	香川県	【トイレの洋式化(県道一体型)】 ・道路管理者が管理する7駅におけるトイレの洋式化が全て完了。（R3.3.31「道の駅」ことなみ完了）	【体験型アトラクション等の充実(国道一体型を除く)】 「小豆島ふるさと村」においてフルーツ狩り用の農園を整備中である。
	高知県	【県が関係する道の駅20駅（※直轄国道+一体型を除く）への調査結果を元に記載】 ・トイレの洋式化：12駅で対応済（すくも、大月、四万十大正、ゆすはら、南国風良里、布施ヶ坂、土佐和紙工芸村、やす、田野駅屋、ビオスおおがた、なぶら土佐佐賀、なかとさ） ・フリーWi-Fi設置：12駅で対応済（すくも、大月、四万十大正、南国風良里、布施ヶ坂、土佐和紙工芸村、やす、田野駅屋、ビオスおおがた、なぶら土佐佐賀、四万十とおわ、なかとさ） ・体験型アトラクション等の充実：1駅で対応済（なかとさ） ・クレジットカード対応：5駅で対応済（南国風良里、木の香、よって西土佐、なかとさ、大杉） ・免税対応：対応なし ・多言語化：5駅で対応済（布施ヶ坂、田野駅屋、ビオスおおがた、なぶら土佐佐賀、よって西土佐） ・トイレの老朽化による改修に伴い随時洋式化を実施（H26年度 道の駅「633美の里」「南国風良里」「木の香」「布施ヶ坂」、H29年度「土佐さめうら」） ・多言語のトイレ案内板の設置（H30年度 道の駅「土佐さめうら」）	・多言語及びキャッシュレス化の推進。 ・FreeWi-Fiの整備。

取組名称		「道の駅」施設管理における見える化	
取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
◇情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組を実施	岡山県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29に実施したトイレや情報提供施設の点検結果を踏まえ、洋式化できていなかった6駅のうち5駅のトイレについてリニューアルを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋式化ができていない1駅の改修を進める（R3年度完了予定）。</li> </ul>
	広島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県独自の取組として、設置者（市町）と運営者（道の駅）と連携し、毎年度3～4駅ずつ点検を実施しており、サービス水準維持および向上に寄与している。</li> </ul>	—
	高知県	<p>【県が関係する道の駅20駅（※直轄国道+一体型を除く）への調査結果を元に記載】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県が観光客の満足度向上につなげるため、県民による観光客へのおもてなしの機運を高める取組みとして行っている「おもてなしトイレ」への認定（四万十大正、南国風良里、美良布、土佐和紙工芸村、木の香、やす、なぶら土佐佐賀、なかとさ、田野駅屋）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもてなしトイレ」への認定を推進。</li> </ul>

取組内容（概要）	担当	取組による成果	今後の課題
自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度に自治体広報誌を活用した相互広報に関する実態調査を実施（中・四国7県）。</li> <li>・実態調査の結果、全ての県において、自治体 広報誌を用いた相互広報をすでに実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、自治体広報誌を用いた相互広報を推進。</li> </ul>
情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ	本四高速	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年2月5日に協議会WEBサイトを開設、各種取組について掲載内容を適宜更新。</li> <li>・各県観光ページとの相互リンク、協議会ロゴを使用したバナー掲載、QRコードによるリンク等の取組を実施。</li> <li>・本四高速観光情報誌瀬戸マーレと連携し、協議会の取り組みを取材・記事化し、協議会WEBサイトでも発信。</li> <li>・開設以来、サイトへのアクセス数は着実に伸び、R2年度のアクセス数は4400PV（月平均）と情報提供に一定の効果が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ後の観光需要回復を見据えたコンテンツの更新、充実。</li> </ul>
	四国地整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オフィシャルロゴのデザイン案を作成し、協議会に諮り決定（R1第1回幹事会で決定、協議会で公表）。</li> <li>・「かんせと」認知度向上のため、本四高速SA/PAにおいて来訪者へのアンケート調査実施の際に、謝礼としてオフィシャルロゴと「かんせと」ホームページORコードを印刷したポケットティッシュを配布。（H31年度に淡路島南SA、与島PS、来島海峡SAにて実施、約800個配布）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かんせと」認知度向上のため、構成員の活動の際にオフィシャルロゴ活用を検討</li> </ul>
四国八十八景の 프로모ーション	四国運輸局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国八十八景プロジェクト「電子スタンプラリー」の実施。</li> <li>・訪日外国人レンタカー利用者向けマップに選定地を掲載。</li> <li>・英語版四国八十八景HP開設。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・afterコロナの観光需要復興に向け、継続して四国八十八景の魅力をプロモートすることが必要。</li> </ul>
本四高速の新たな料金の広報	本四高速	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑誌広告等で海峡部区間、本四間の代表的な料金を告知。</li> <li>・全国共通料金の導入以降R1年度まで、本四道路の交通量は年率1.7%で増加しており、利用しやすい料金として認知されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各県のご協力をいただき、広報誌等への広告掲載を検討。</li> </ul>
その他SNSやHPを活用した情報発信	兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫県HP及び県観光協会HPのトップ画面において、「かんせと」のバナーを掲載</li> </ul>	—
	香川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うどん県旅ネットやTwitter、Facebook、Instagramを通じてモデルコースや観光スポットを紹介。</li> <li>・県HPに資料と広報ちらしを掲載し、参加者を広く募ることができた（ウオーキング）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の発信をしているが、何をきっかけに本県を旅行先に選んだかを把握するのは難しい。</li> <li>・閲覧数の増加を促し、更に効果的な情報発信に繋げる必要がある。（ウオーキング）</li> </ul>
	高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の自治体や観光協会のHPに協議会HPへアクセスするためのバナー及びリンクを掲載。（実施：16団体）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バナー及びリンクを掲載を実施して頂けていない団体に協力をお願いし、協議会HPを通じたイベント情報などの発信により更なる交流の促進に繋げる。</li> </ul>

# 全国高速道路と本四高速の日平均交通量の推移

- **全国の高速道路**におけるH29の日平均交通量は、H25比 **約4%減** **本四高速**は**約5%~11%増**
- 協議会目標は未達成であったが、協議会での**取り組み成果を確認**



出典) 全国高速道路平均交通量/高速道路便覧(2020)  
本四3橋交通量/本州四国連絡高速道路株式会社

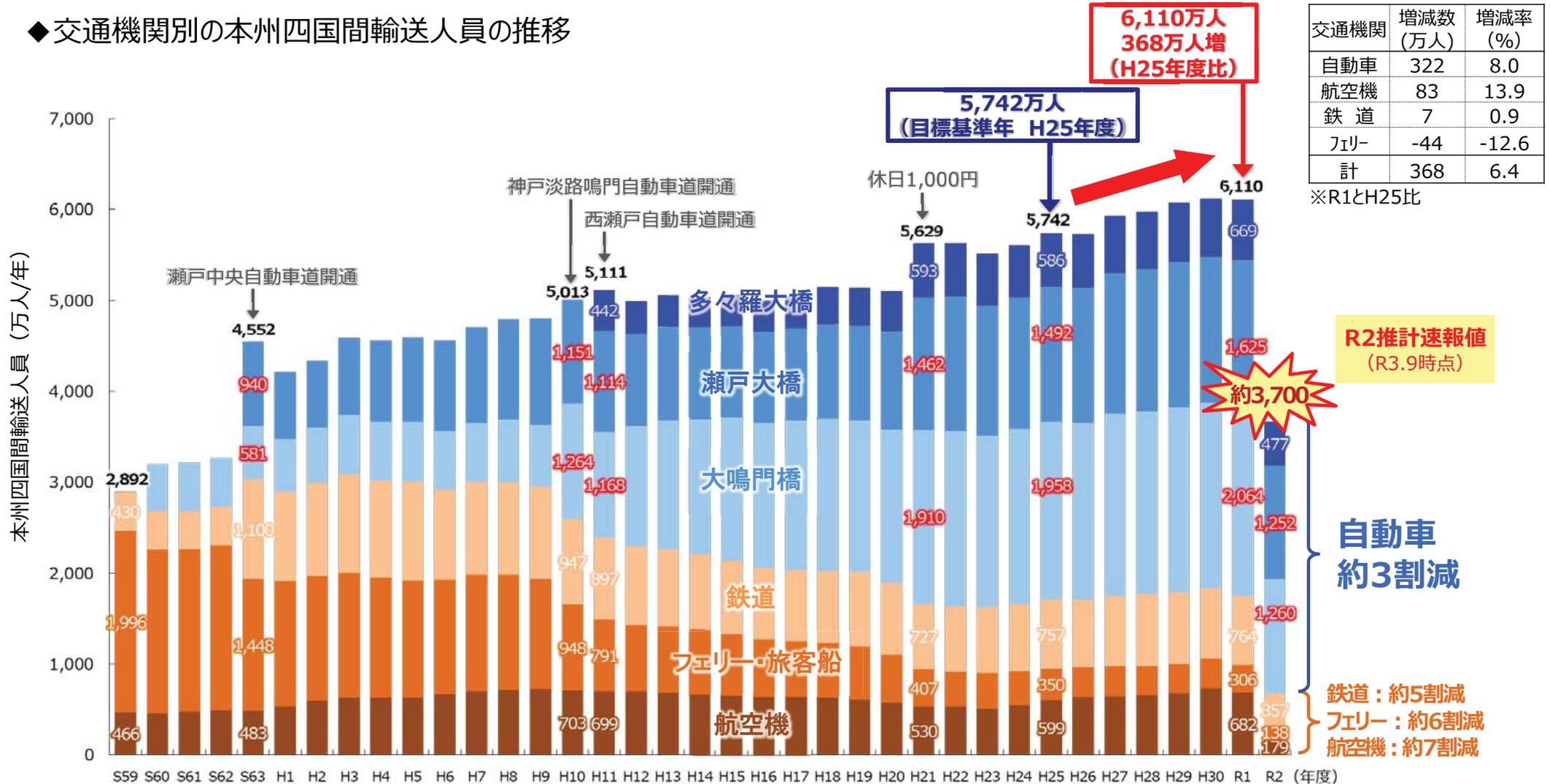
# 各種分析

(コロナの影響分析含む)

# 交通機関別の交流人口の推移

- R1年度では、H25比 **自動車:約320万人増 (8%増)**、**航空機:約80万人増 (14%増)**、**鉄道:ほぼ変化なし (1%増)**、**フェリー:約40万人減 (13%減)**
- R2年度は、**コロナの影響**により、**航空機、フェリー、鉄道は5割～7割減**、**自動車は3割減**

## ◆交通機関別の本州四国間輸送人員の推移



出典) 本州四国連絡高速道路(株)資料、四国運輸局「業務要覧」より作成

注1: 瀬戸大橋開通 (1988年4月) 以前の鉄道の輸送人員は、宇高連絡船の利用客開通後は、JR瀬戸大橋線の輸送人員

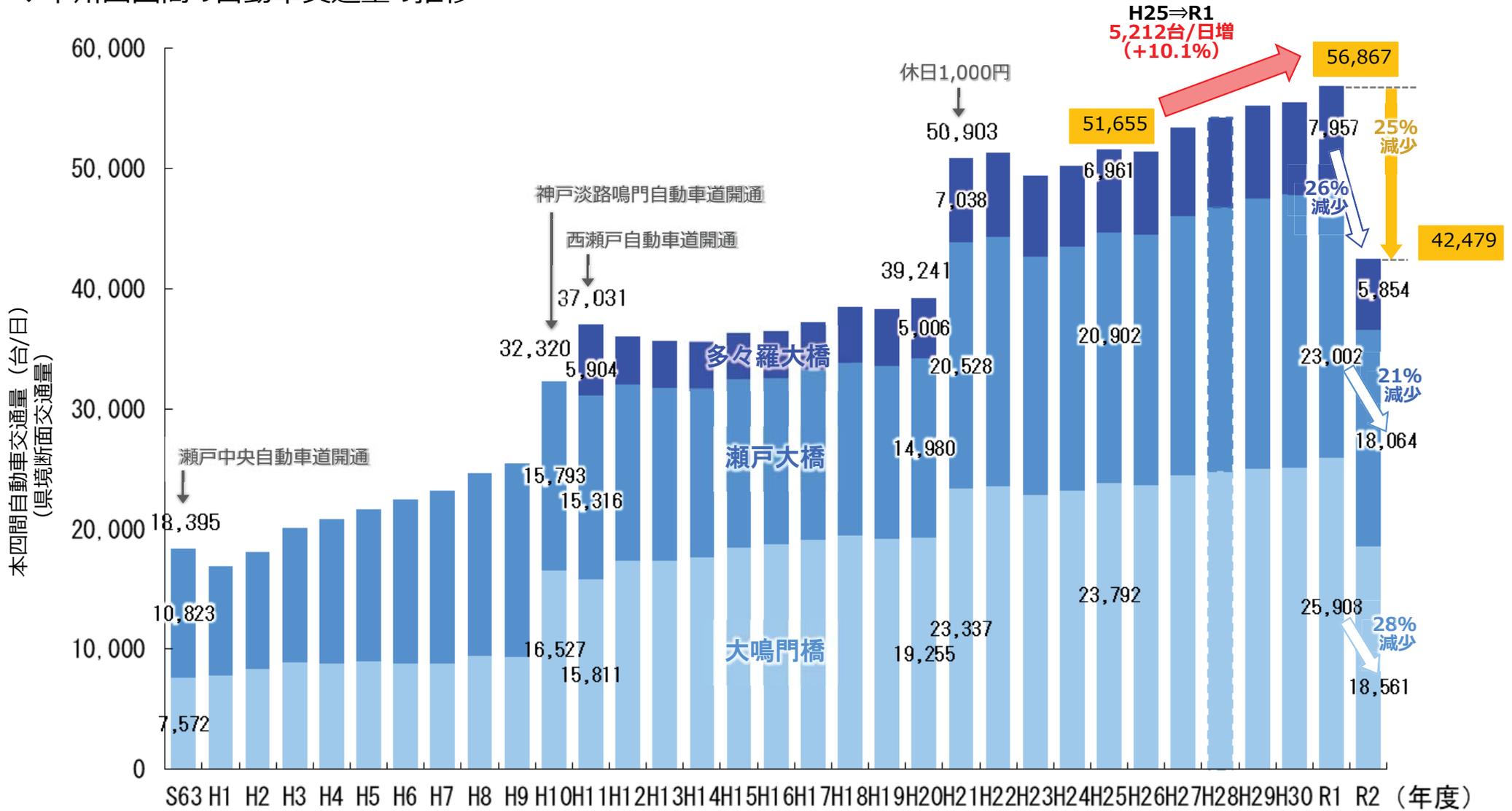
注2: 瀬戸大橋、大鳴門橋、多々羅大橋はそれぞれ県境に架かる橋

注3: R2年度の交流人口は、推計速報値であり、今後公表されるデータを用いて更新する

# 本四間自動車交通量への影響

- R1年度の本四間自動車交通量は、H25比 **約10%増**（約51,700台/日⇒ 約56,900台/日）
- R2年度は、**コロナ**の影響を受け R1比 **約25%減** 大鳴門橋・多々羅大橋 **約3割減**、瀬戸大橋 **約2割減**

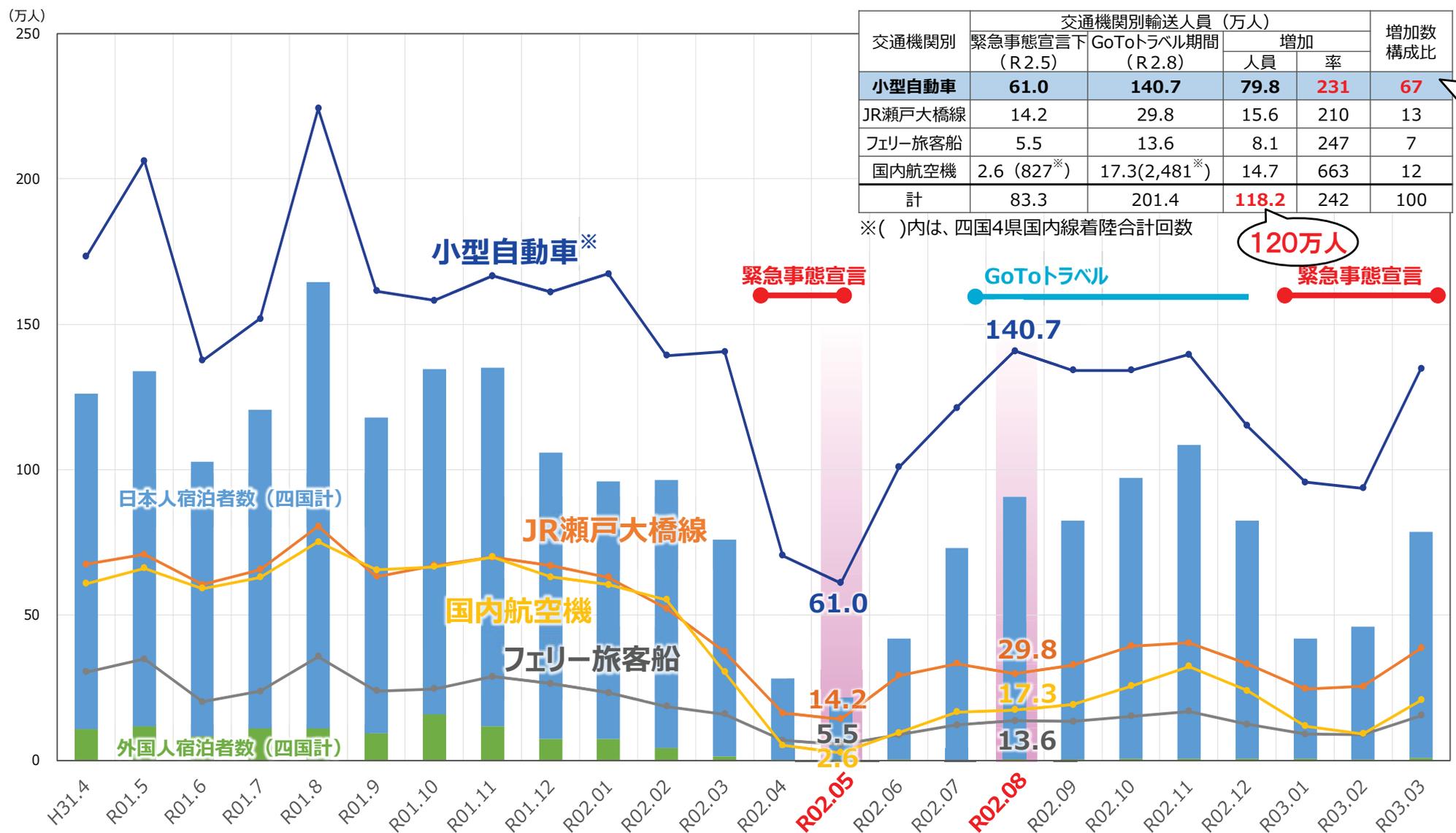
## ◆本州四国間の自動車交通量の推移



出典) 本四間自動車交通量/本州四国連絡高速道路 (株)

# 【観光】四国における宿泊者数の推移と交通機関別輸送人員の推移

- コロナ前後も、**小型自動車**は、宿泊者数の**増減**に最も反応し、**鉄道、航空機、フェリー**がこれに続く。
- GoToトラベル**により、輸送人員は**120万人増加**し、その内、**約7割**が**小型自動車**



約7割

120万人

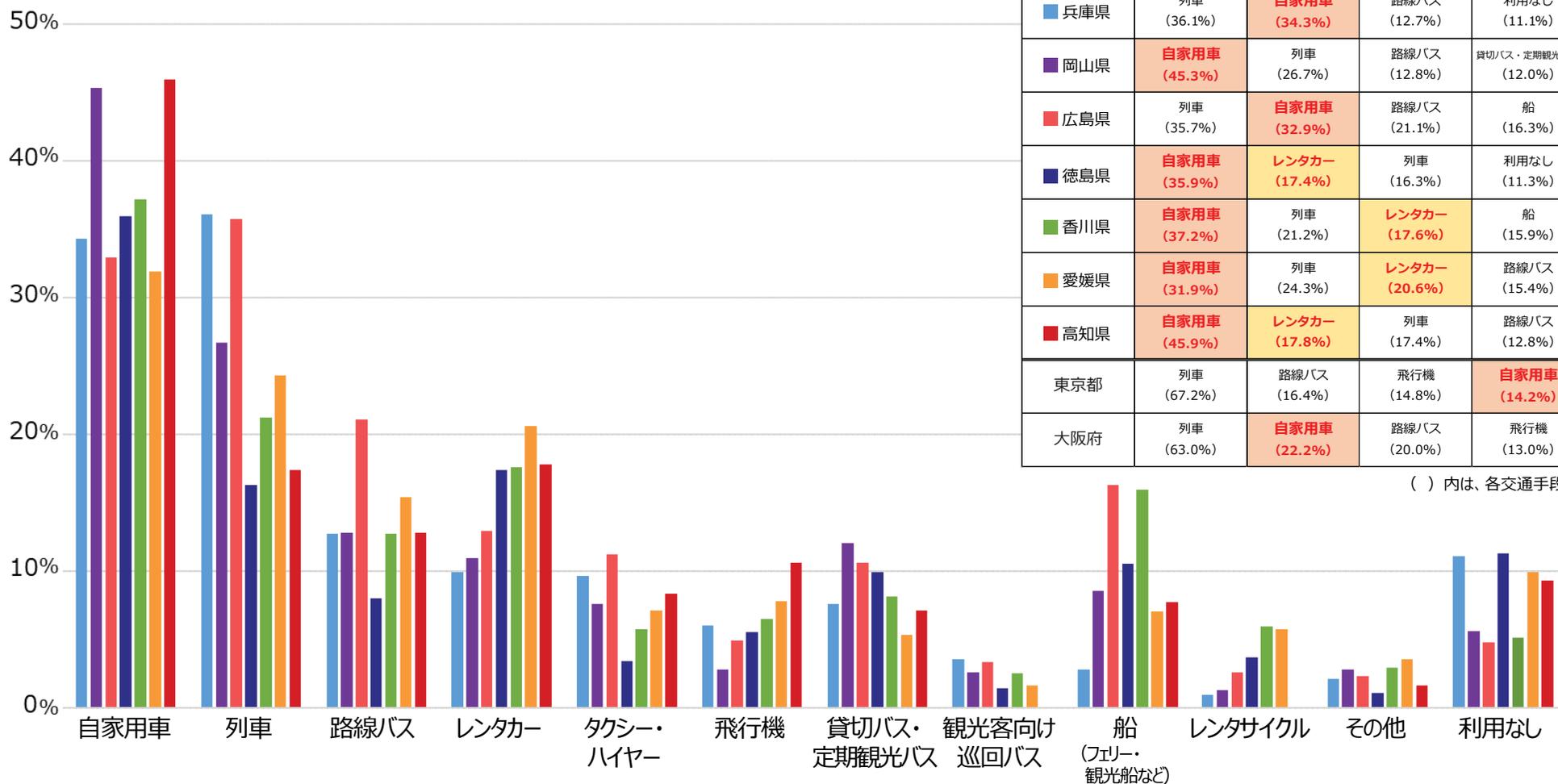
※小型自動車は、本四交通量(台)に平成27年度全国道路・街路交通情勢調査「目的別平均乗車人数(四国ブロック:1.30)」を乗じて算出

出典) 宿泊旅行統計調査/観光庁  
交通機関別輸送人員/四国運輸局、大阪航空局  
本四交通量/本州四国連絡高速道路株式会社  
国内線着陸回数(空港管理状況)/国土交通省

# 【観光】環瀬戸内海地域の日本人旅行者における旅行先での交通手段割合



- 日本人旅行者の旅行先での主な交通手段は、環瀬戸内海地域全体的に**自家用車**を利用した旅行の割合が**高い**
- また、県別にみると、公共交通機関が発達している東京・大阪と比べ、**自家用車・レンタカー**の利用が**上位**に



●県別交通手段ランキング<上位5位>

	1位	2位	3位	4位	5位
兵庫県	列車 (36.1%)	自家用車 (34.3%)	路線バス (12.7%)	利用なし (11.1%)	レンタカー (9.9%)
岡山県	自家用車 (45.3%)	列車 (26.7%)	路線バス (12.8%)	貸切バス・定期観光バス (12.0%)	レンタカー (10.9%)
広島県	列車 (35.7%)	自家用車 (32.9%)	路線バス (21.1%)	船 (16.3%)	レンタカー (12.9%)
徳島県	自家用車 (35.9%)	レンタカー (17.4%)	列車 (16.3%)	利用なし (11.3%)	船 (10.5%)
香川県	自家用車 (37.2%)	列車 (21.2%)	レンタカー (17.6%)	船 (15.9%)	路線バス (12.7%)
愛媛県	自家用車 (31.9%)	列車 (24.3%)	レンタカー (20.6%)	路線バス (15.4%)	利用なし (9.9%)
高知県	自家用車 (45.9%)	レンタカー (17.8%)	列車 (17.4%)	路線バス (12.8%)	飛行機 (10.6%)
東京都	列車 (67.2%)	路線バス (16.4%)	飛行機 (14.8%)	自家用車 (14.2%)	タクシー・ハイヤー (10.5%)
大阪府	列車 (63.0%)	自家用車 (22.2%)	路線バス (20.0%)	飛行機 (13.0%)	レンタカー (10.4%)

( ) 内は、各交通手段の利用割合

(注) 交通手段割合は複数回答による割合  
1回の旅行につき、複数の旅行先(都道府県)を選択したデータを含む

# 【観光】小型車交通量の月変動【県境3橋計】

- 観光交通は、**季節変動があり**R1年度までは**増加傾向** R2年度は**新型コロナウイルスの影響**により**大幅減**
- R3年度は、R1年度には戻っていない**

**2020年度**

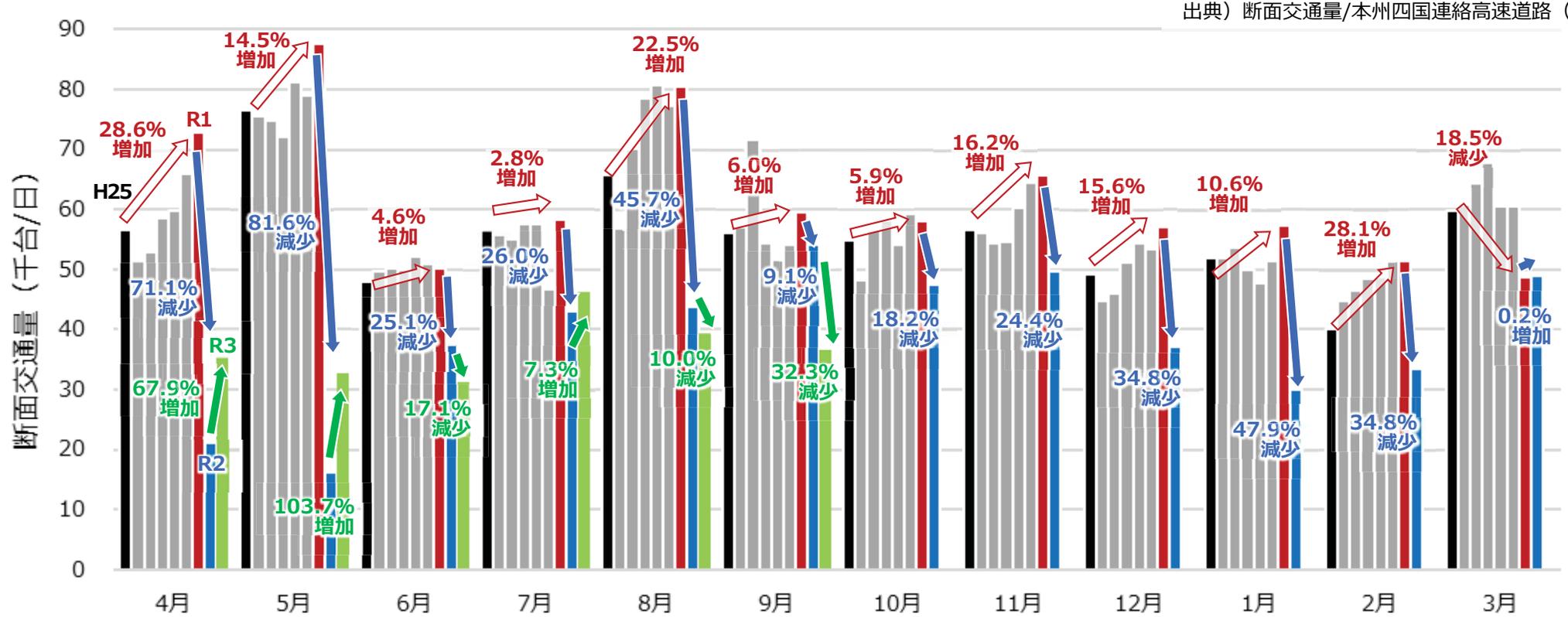
- 緊急事態宣言**
  - 発出 (4/7: 7都府県) (4/16: 全国)
  - 解除 (5/14: 39県解除) (5/21: 関西解除) (5/25: 全国解除)
- Go-Toトラベル**
  - 開始 (7/22)
  - ※ 西日本観光周遊ドライブパス (9/18~)
- 一時停止** (12/14方針表明) (12/28~停止)
- 緊急事態宣言**
  - 発出 (1/8: 4都県) (1/14: 7府県追加)
  - 解除 (2/8: 1県解除) (2/28: 6府県解除) (3/21: 緊急事態終了)

**2021年度**

- 緊急事態宣言**
  - 発出 (4/25: 4都府県) (5/12: 2県追加) (5/16: 3道県追加) (5/23: 1県追加)
  - 解除 (6/20: 1県以外解除) (7/12: 1都) (8/2: 4府県追加) (8/20: 7府県追加) (8/27: 8道県追加) (9/12: 2県解除) (9/30: 緊急事態終了)
- オリンピック** (7/23~8/8)
- パラリンピック** (8/24~9/5)

対象車両：普通車+軽自動車  
対象日：土日祝  
※増減率 緑字：2021年度/2020年度  
青字：2020年度/2019年度  
赤字：2019年度/2013年度

2013 (H25) 年度	黒色
2019 (H31.R1) 年度	赤色
2020 (R2) 年度	青色
2021 (R3) 年度	緑色



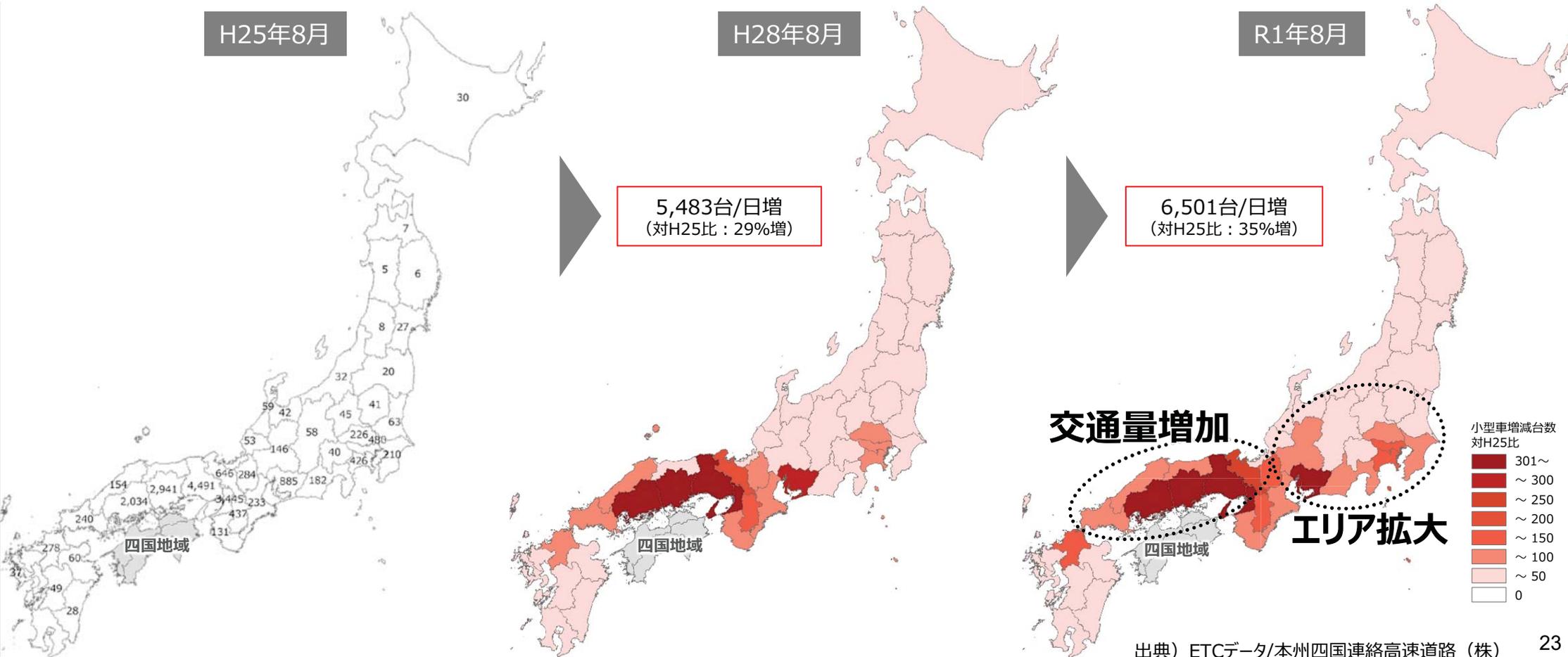
出典) 断面交通量/本州四国連絡高速道路 (株)

# 【観光】四国地域に流入する小型車の発地変化

- 四国に流入する**観光交通**の車両台数は、**兵庫県、大阪府、岡山県、広島県**が多く、更に流入車両が**増加**
- 北陸**地方、**中部**地方、**関東**地方まで**エリアが拡大**

四国に流入した日平均車両台数  
 対象車両：普通車+軽自動車  
 対象年月：H25、H28、R1（各8月）  
 対象日：土日祝  
 登録ナンバーを出発地とする

県名	H25.8 日平均 流入台数	H28.8			R1.8		
		日平均 流入台数	増減台数 対H25.8	増減率 対H25.8	日平均 流入台数	増減台数 対H25.8	増減率 対H25.8
大阪府	3,445	4,777	1,332	39%	4,703	1,258	37%
兵庫県	4,491	5,683	1,192	27%	5,643	1,152	26%
岡山県	2,941	3,776	835	28%	4,041	1,099	37%
広島県	2,034	2,627	592	29%	2,686	652	32%
全国	18,788	24,271	<b>5,483</b>	<b>29%</b>	25,289	<b>6,501</b>	<b>35%</b>



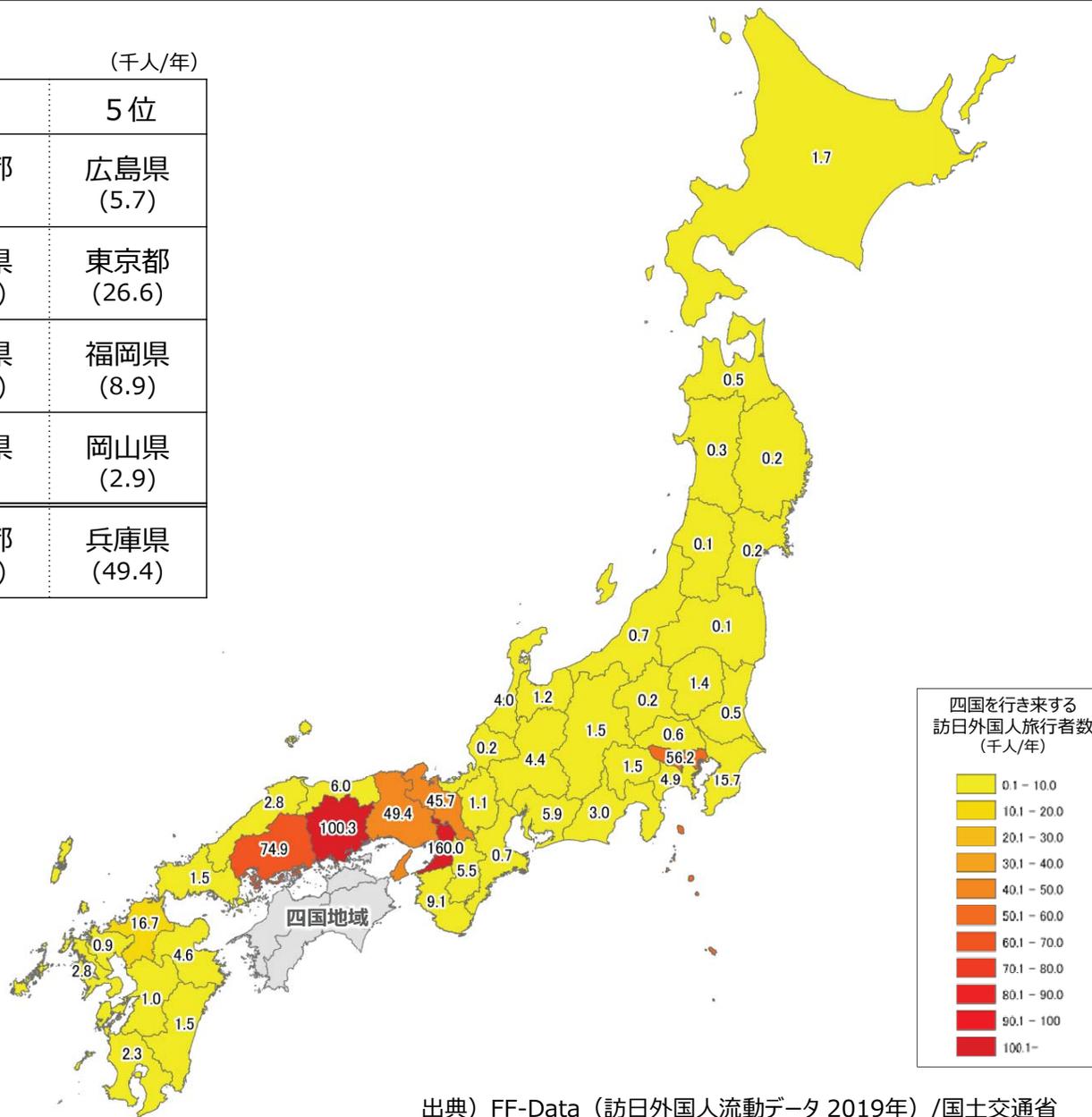
# 【観光】四国を行き来する訪日外国人旅行者数

○四国を行き来する訪日外国人旅行者数は、**1位 大阪府** (160.0千人/年)、**2位 岡山県** (100.3千人/年)、**3位 広島県** (74.9千人/年)、**4位 東京都** (56.2千人/年)、**5位 兵庫県** (49.4千人/年)

●四国を行き来する訪日外国人旅行者数<上位5位> (千人/年)

	1位	2位	3位	4位	5位
<b>徳島県</b> (116.0)	大阪府 (39.5)	兵庫県 (12.2)	岡山県 (9.6)	東京都 (7.4)	広島県 (5.7)
<b>香川県</b> (442.1)	大阪府 (82.0)	岡山県 (73.6)	京都府 (31.8)	兵庫県 (27.2)	東京都 (26.6)
<b>愛媛県</b> (190.1)	広島県 (40.1)	大阪府 (20.9)	東京都 (14.4)	岡山県 (14.2)	福岡県 (8.9)
<b>高知県</b> (68.0)	大阪府 (17.6)	東京都 (7.8)	京都府 (3.4)	兵庫県 (3.1)	岡山県 (2.9)
<b>四国</b> (816.2)	大阪府 (160.0)	岡山県 (100.3)	広島県 (74.9)	東京都 (56.2)	兵庫県 (49.4)

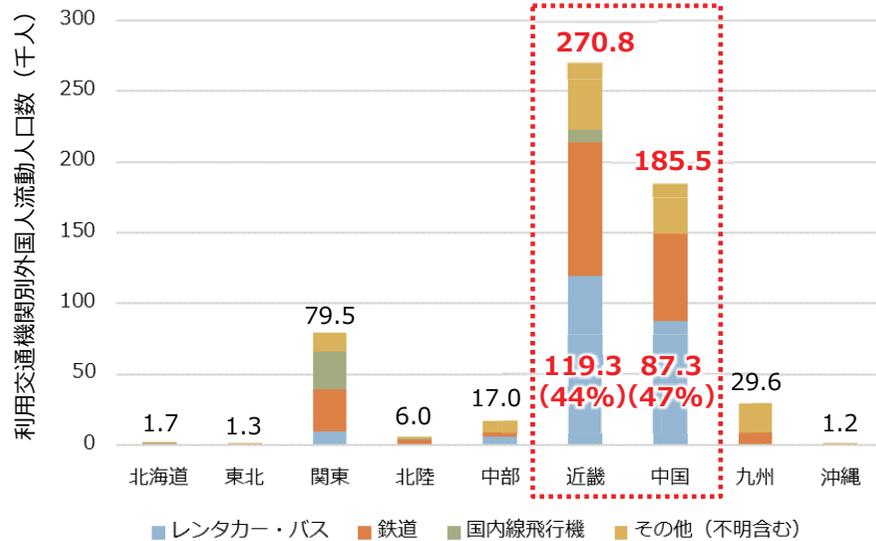
太字( )内は、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国の訪日外国人旅行者数  
 ( )内は、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、四国と各都府県を行き来する訪日外国人旅行者数



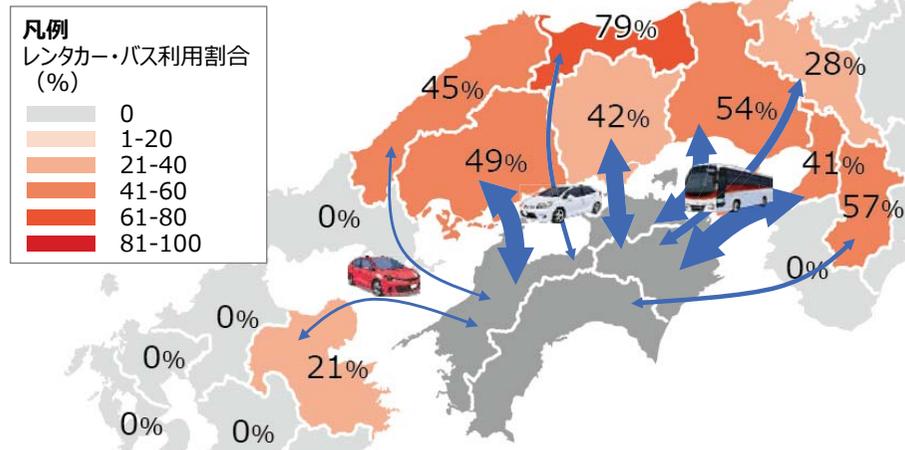
# 【観光】四国を行き来する訪日外国人旅行者の利用交通機関割合

- 四国を行き来するインバウンドは近畿と中国地域が大半で、**レンタカー・バス**による**移動**が**約4~5割**
- さらに、四国近郊の空港との行き来は**レンタカー・バス**による**移動**が**約5~6割**

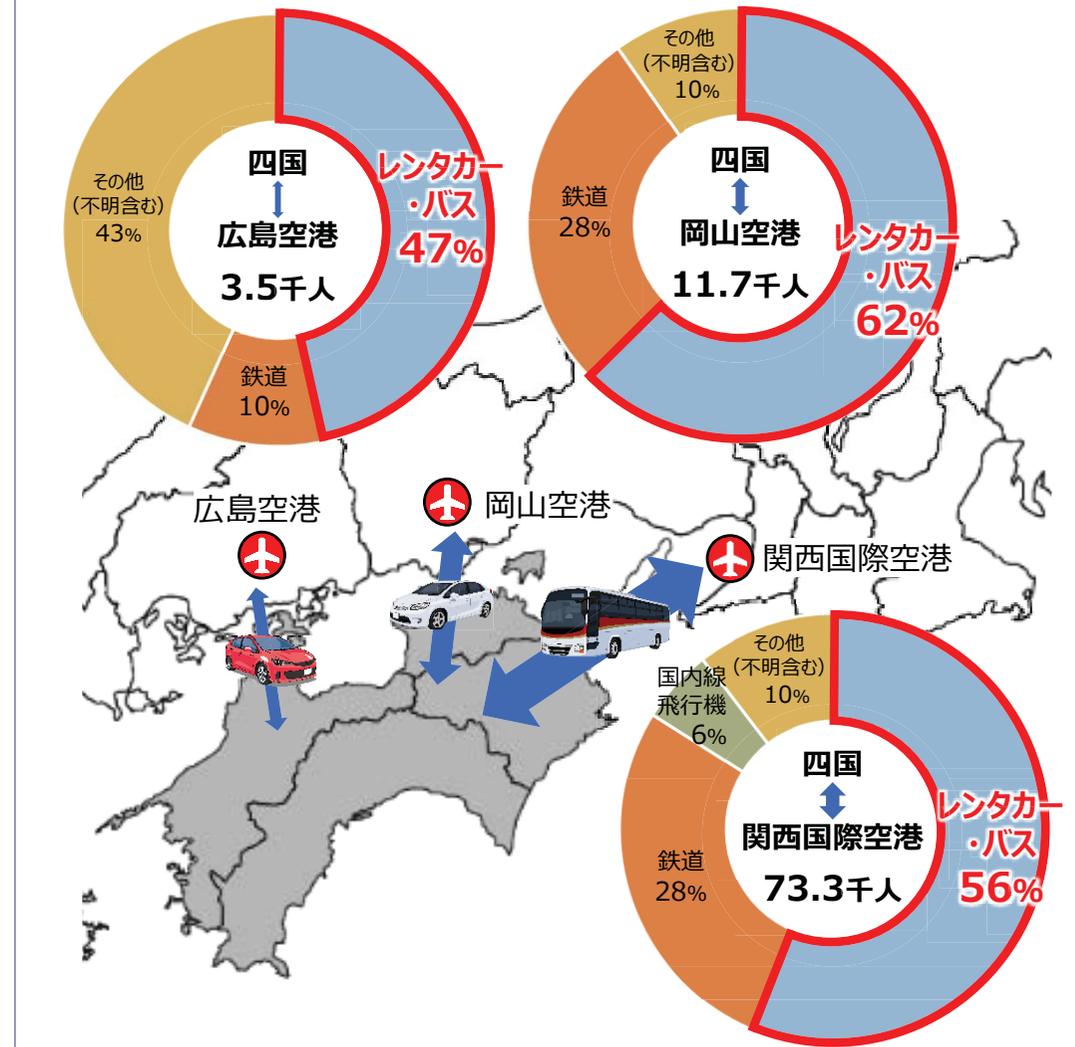
<地域別>



●都道府県別レンタカー・バス利用割合

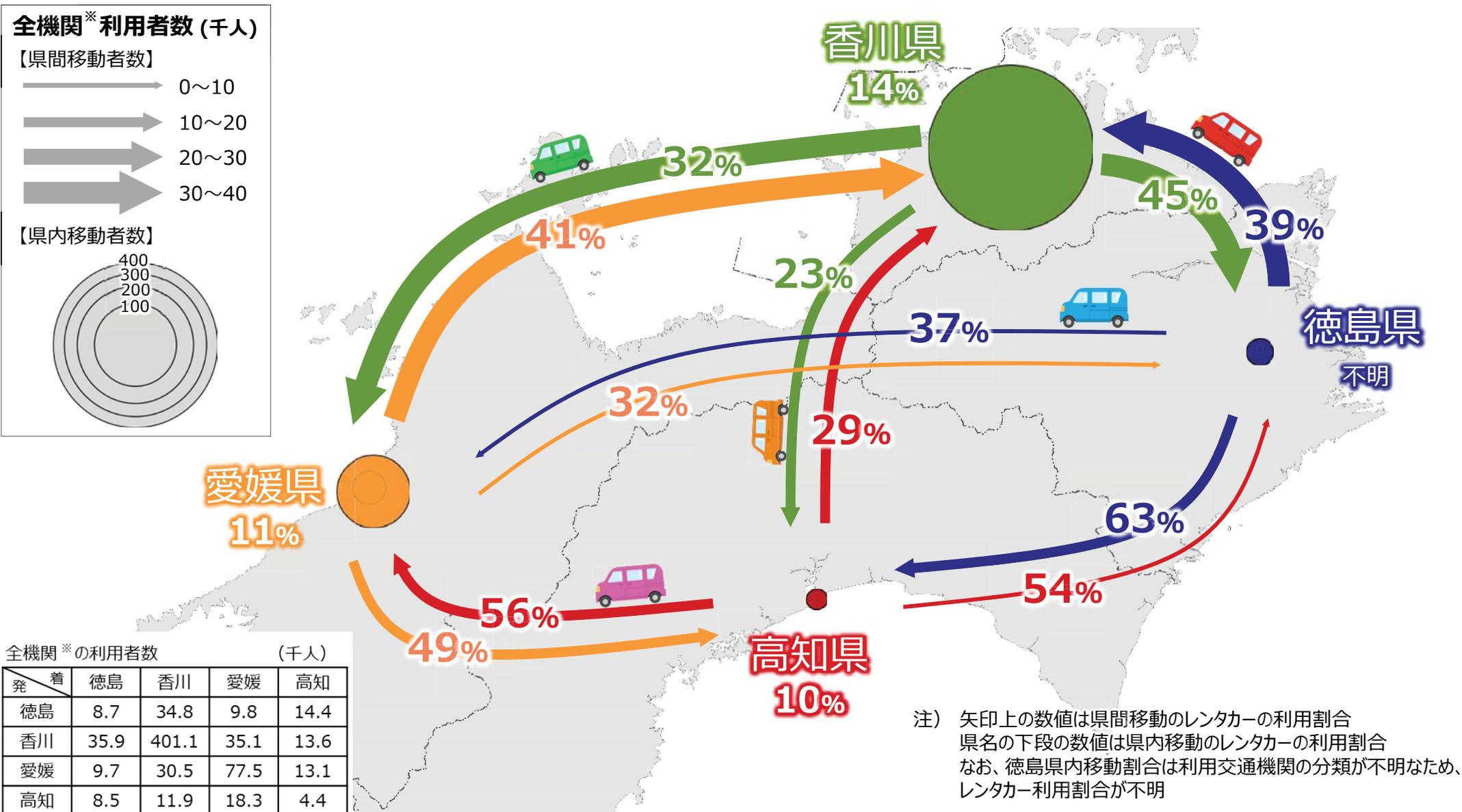


<空港別>



# 【観光】訪日外国人旅行者の四国内移動におけるレンタカー利用割合

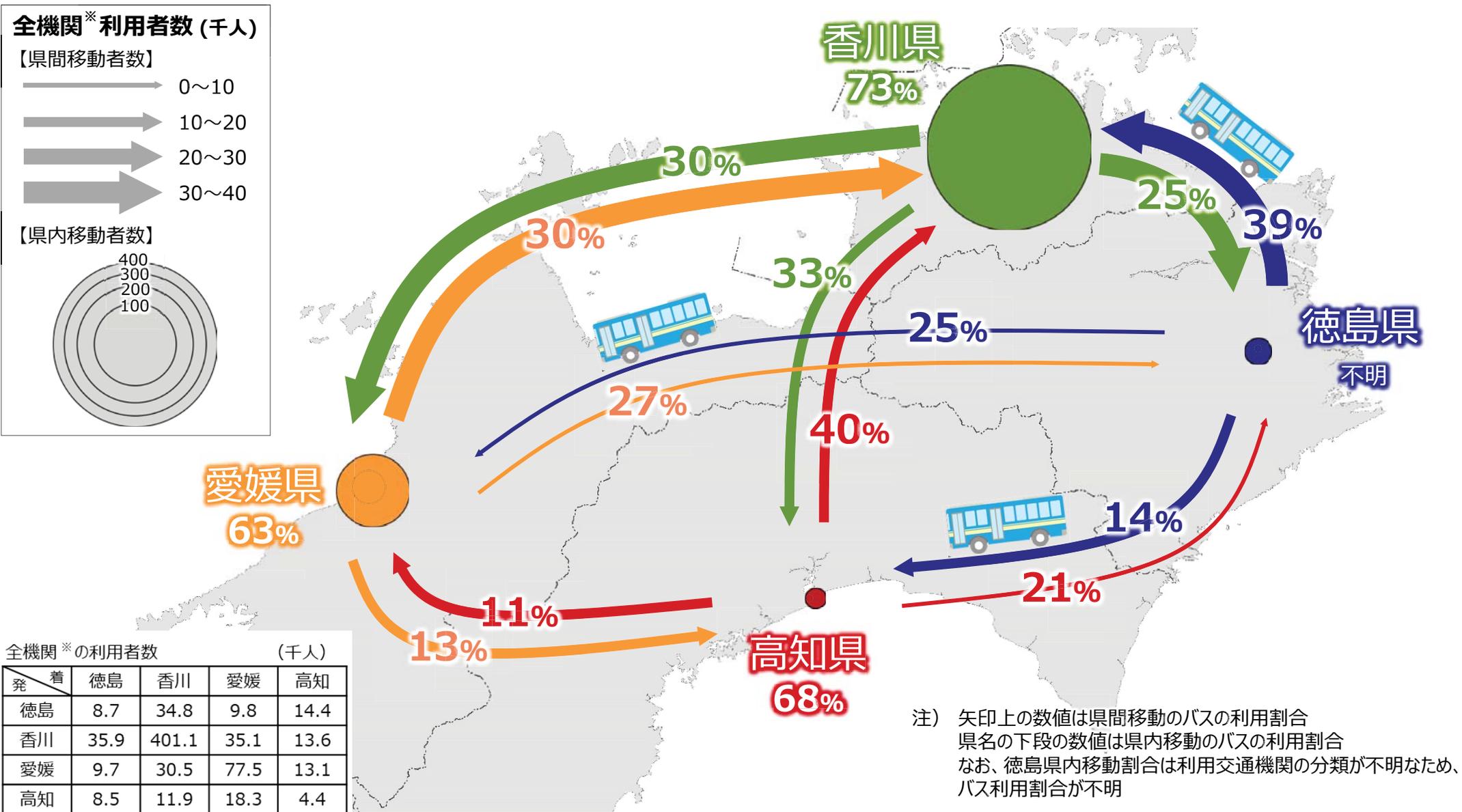
- レンタカー利用は、太平洋側の県間移動で約5～6割を占め、瀬戸内側で約3～5割を占める。
- 県内移動は約1割にとどまる。



※ 全機関とは、バス・鉄道・タクシー・ハイヤー・レンタカー・その他の乗用車・国内線飛行機・その他・不明を含む交通機関のことである。

# 【観光】訪日外国人旅行者の四国内移動におけるバス利用割合

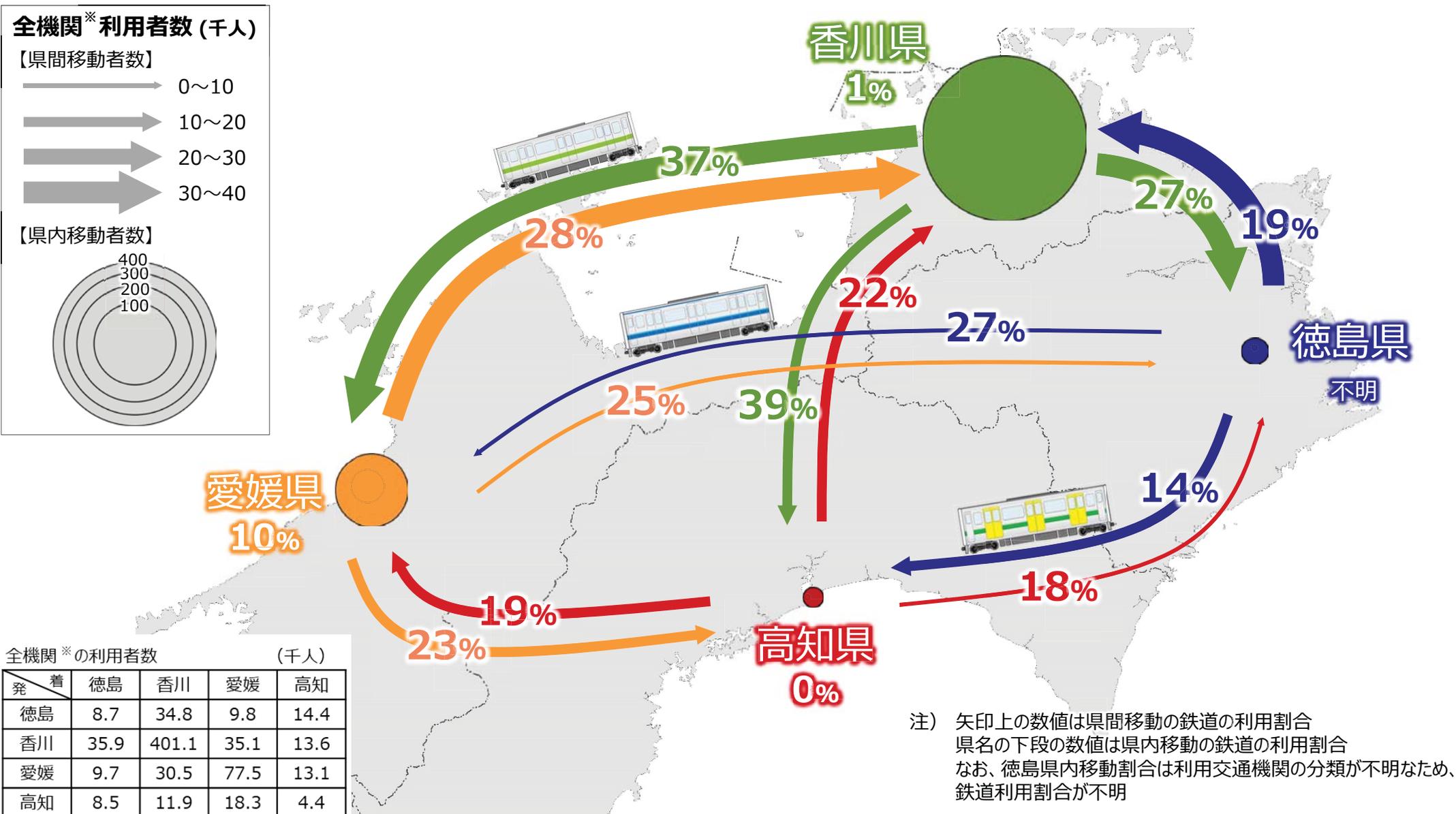
- バス利用は、**県内移動**で約**6～7割**を占める。
- 太平洋側の県間移動**で約**1～2割**を占め、**その他の県間**で約**3～4割**を占める。



※ 全機関とは、バス・鉄道・タクシー・ハイヤー・レンタカー・その他の乗用車・国内線飛行機・その他・不明を含む交通機関のことである。

# 【観光】訪日外国人旅行者の四国内移動における鉄道利用割合

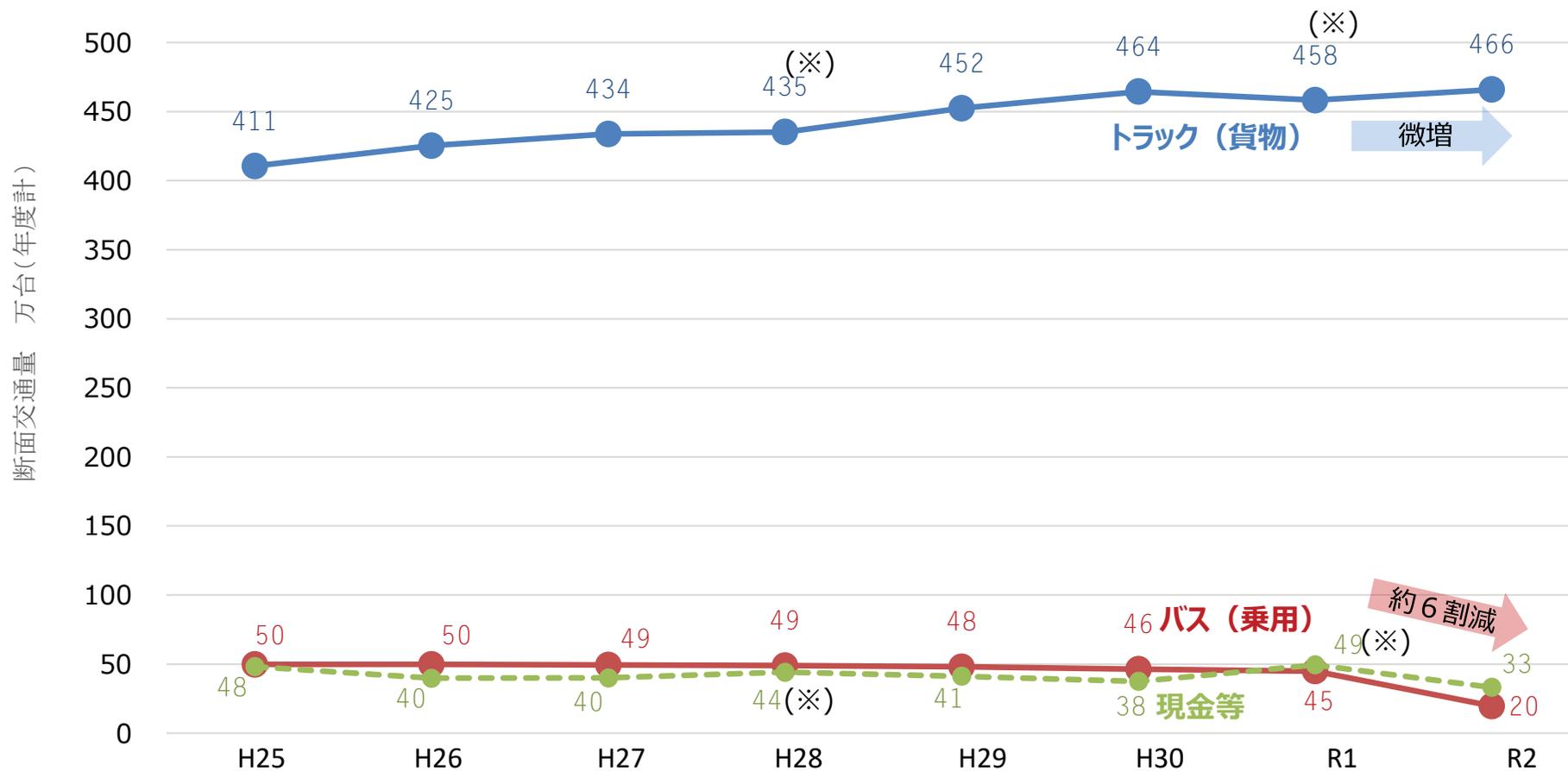
- 鉄道利用は、太平洋側の県間移動で約 1～2 割を占め、その他の県間で約 2～4 割を占める。
- 県内移動は約 1 割にとどまる。



※ 全機関とは、バス・鉄道・タクシー・ハイヤー・レンタカー・その他の乗用車・国内線飛行機・その他・不明を含む交通機関のことである。

# 【産業】大型車（貨物、乗用別）交通量推移【県境3橋計】

- バス（乗用）は、各年増減なし **コロナ禍**では**約6割減**
- トラック（貨物）は、平常時は**増加傾向** **コロナ禍**でも**微増**
- トラック（貨物）は、**コロナ禍**でも**影響を受けない**



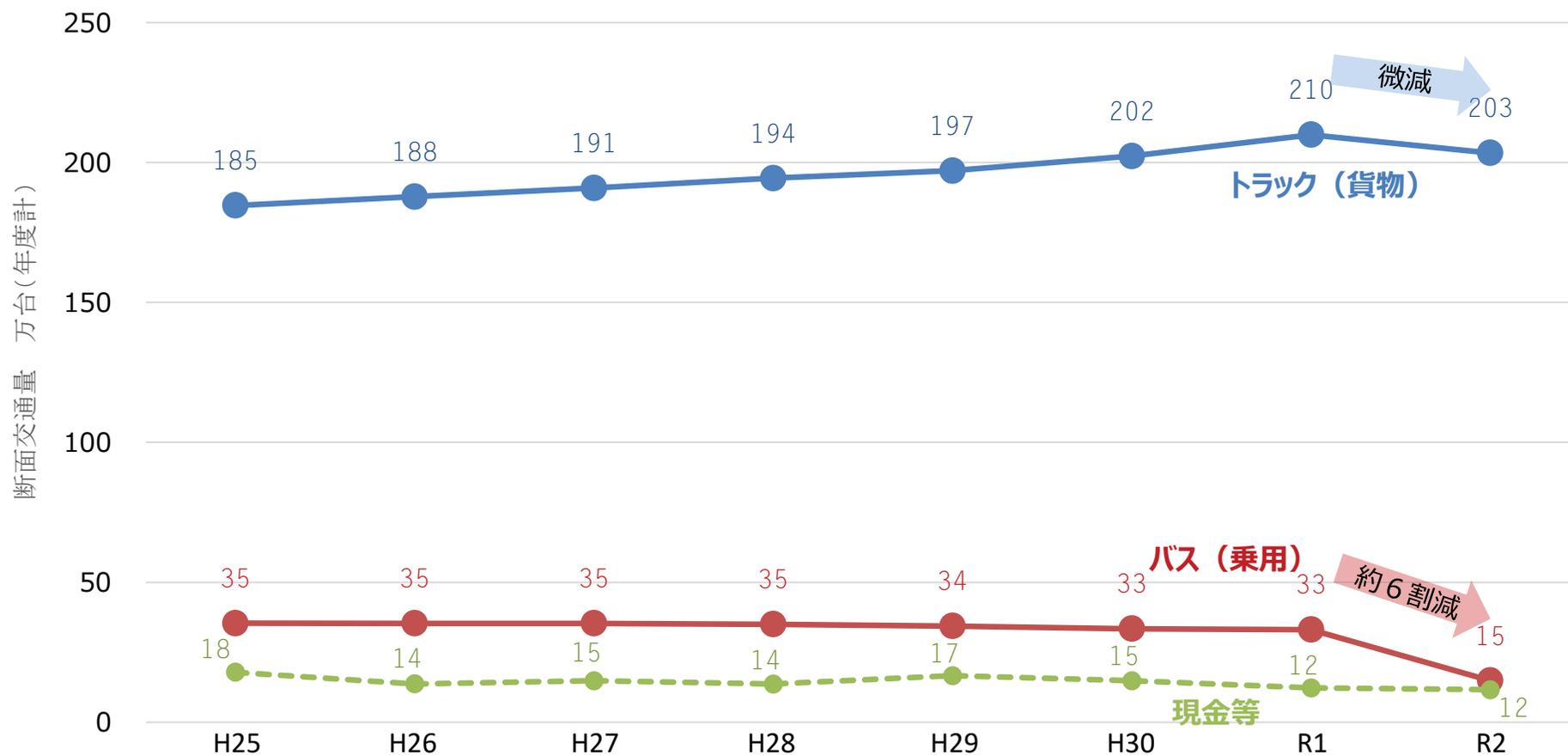
出典）大型車交通量/本州四国連絡高速道路（株）

(注)大型車のETCログデータを、登録車種により貨物系と乗用系に分類  
断面交通量との差分を現金等と区分

(※)ETC料金所の工事等に伴い、一時的に現金等の扱いに転じた期間がある

# 【産業】大型車（貨物、乗用別）交通量推移【大鳴門橋】

- バス（乗用）は、各年増減なし **コロナ禍**では**約6割減**
- トラック（貨物）は、平常時は**増加傾向** **コロナ禍**では**微減**

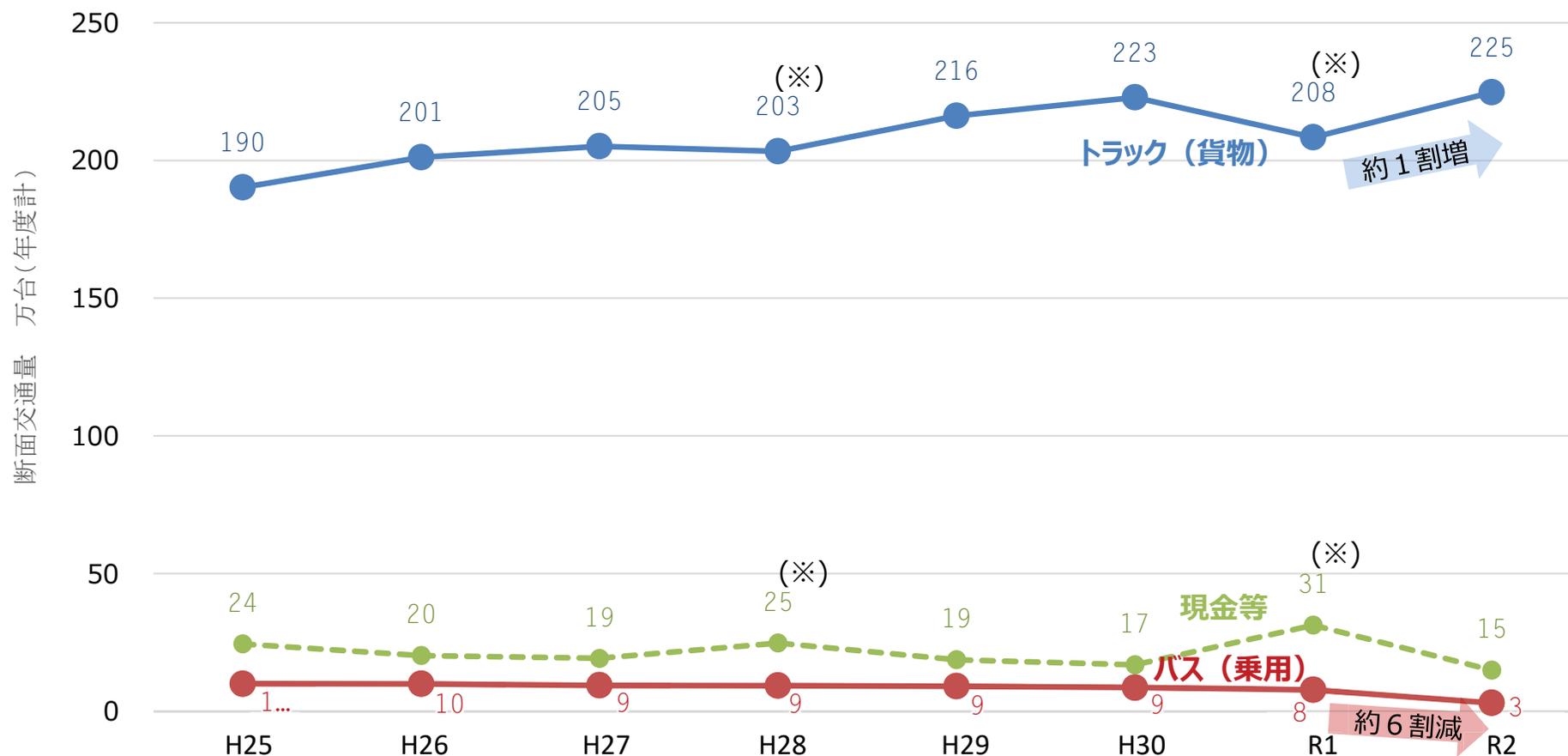


出典）大型車交通量/本州四国連絡高速道路（株）

(注)大型車のETCログデータを、登録車種により貨物系と乗用系に分類  
 断面交通量との差分を現金等と区分  
 ETC料金所の工事等に伴い、一時的に現金等の扱いに転じた期間がある

# 【産業】大型車（貨物、乗用別）交通量推移【瀬戸大橋】

- バス（乗用）は、各年増減なし **コロナ禍**では**約6割減**
- トラック（貨物）は、平常時は**増加傾向** **コロナ禍**でも**約1割増**



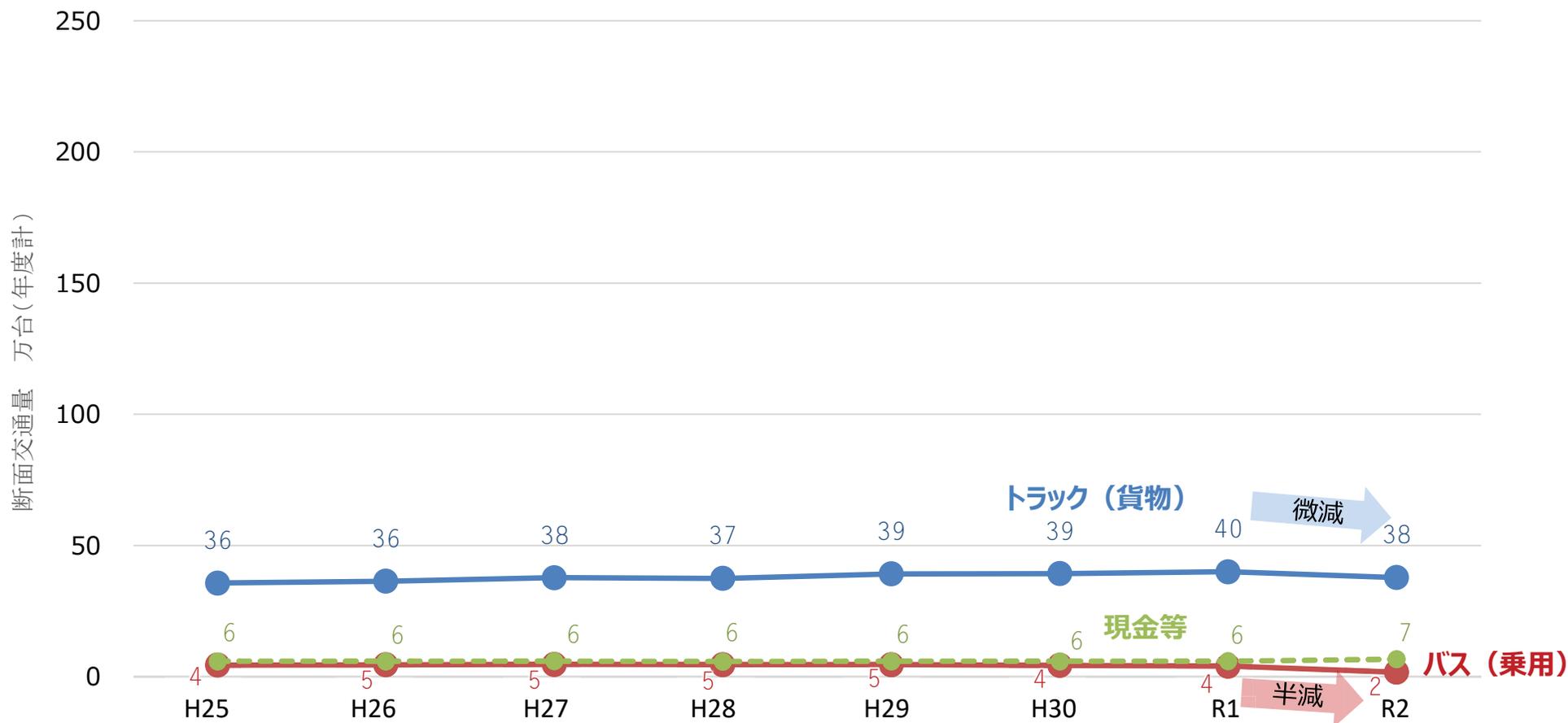
(注)大型車のETCログデータを、登録車種により貨物系と乗用系に分類  
断面交通量との差分を現金等と区分  
(※)ETC料金所の工事等に伴い、一時的に現金等の扱いに転じた期間がある

出典) 大型車交通量/本州四国連絡高速道路(株)

# 【産業】大型車（貨物、乗用別）交通量推移【多々羅大橋】



- バス（乗用）は、各年増減なし **コロナ禍**では**半減**
- トラック（貨物）は、平常時は**微増** **コロナ禍**でも**微減**



(注)大型車のETCログデータを、登録車種により貨物系と乗用系に分類  
断面交通量との差分を現金等と区分  
ETC料金所の工事等に伴い、一時的に現金等の扱いに転じた期間がある

出典) 大型車交通量/本州四国連絡高速道路(株)

# 【産業】大型車（バス+トラック） 交通量への影響【県境3橋計】

- 物流交通は、**季節変動がなく**、R1年度までは**微増傾向** R2年度は**新型コロナウイルスの影響**により**微減**
- 観光交通と比較し、**新型コロナウイルスの影響**を**大きく受けていない**

**2020年度**

●緊急事態宣言●

**発出** (4/7: 7都府県) (4/16: 全国)

**解除** (5/14: 39県解除) (5/21: 関西解除) (5/25: 全国解除)

●Go-Toトラベル●

**開始** (7/22)

※ 西日本観光周遊ドライブパス (9/18~)

**一時停止** (12/14方針表明) (12/28~停止)

●緊急事態宣言●

**発出** (1/8: 4都県) (1/14: 7府県追加)

**解除** (2/8: 1県解除) (2/28: 6府県解除) (3/21: 緊急事態終了)

**2021年度**

●緊急事態宣言●

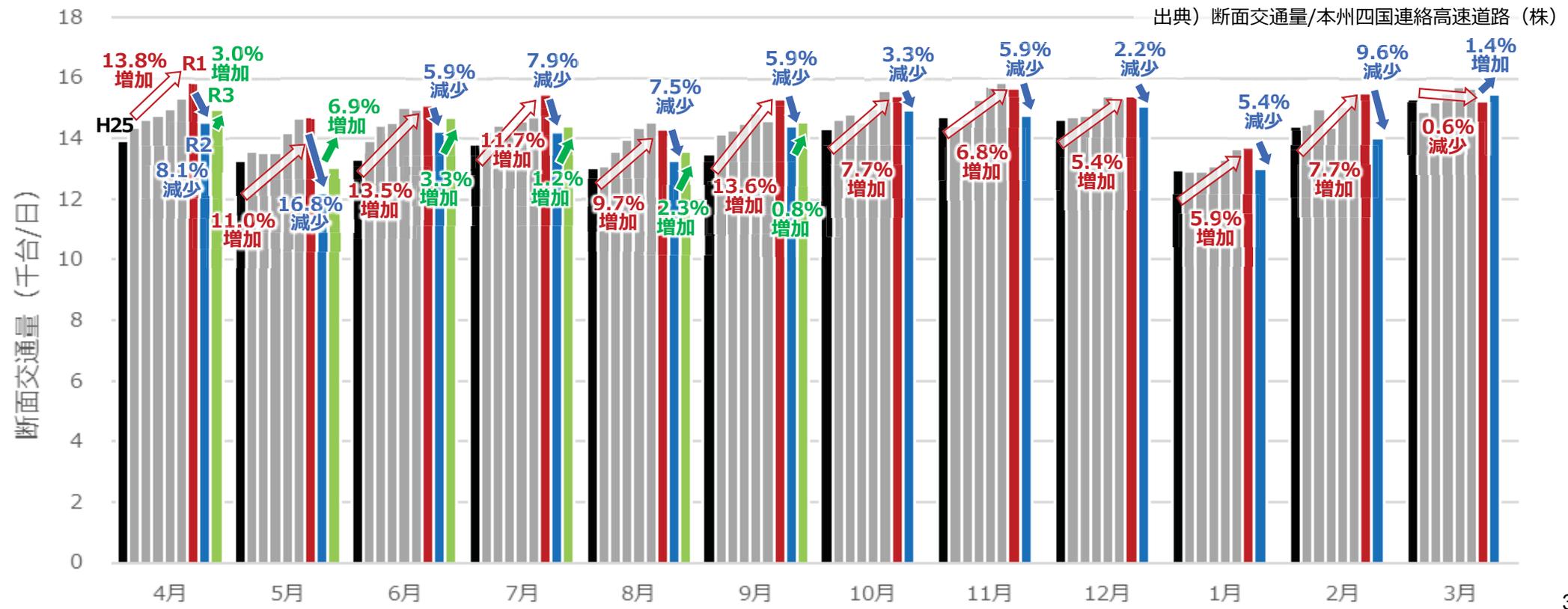
**発出** (4/25: 4都府県) (5/12: 2県追加) (5/16: 3道県追加) (5/23: 1県追加)

**解除** (6/20: 1県以外解除) (7/12: 1都) (8/2: 4府県追加) (8/20: 7府県追加) (8/27: 8道県追加) (9/12: 2県解除) (9/30: 緊急事態終了)

●オリンピック● (7/23~8/8) ●パラリンピック● (8/24~9/5)

対象車両：大型車+特大車+中型車  
対象日：全日  
※増減率 緑字：2021年度/2020年度  
青字：2020年度/2019年度  
赤字：2019年度/2013年度

■ 2013 (H25) 年度  
■ 2019 (H31.R1) 年度  
■ 2020 (R2) 年度  
■ 2021 (R3) 年度

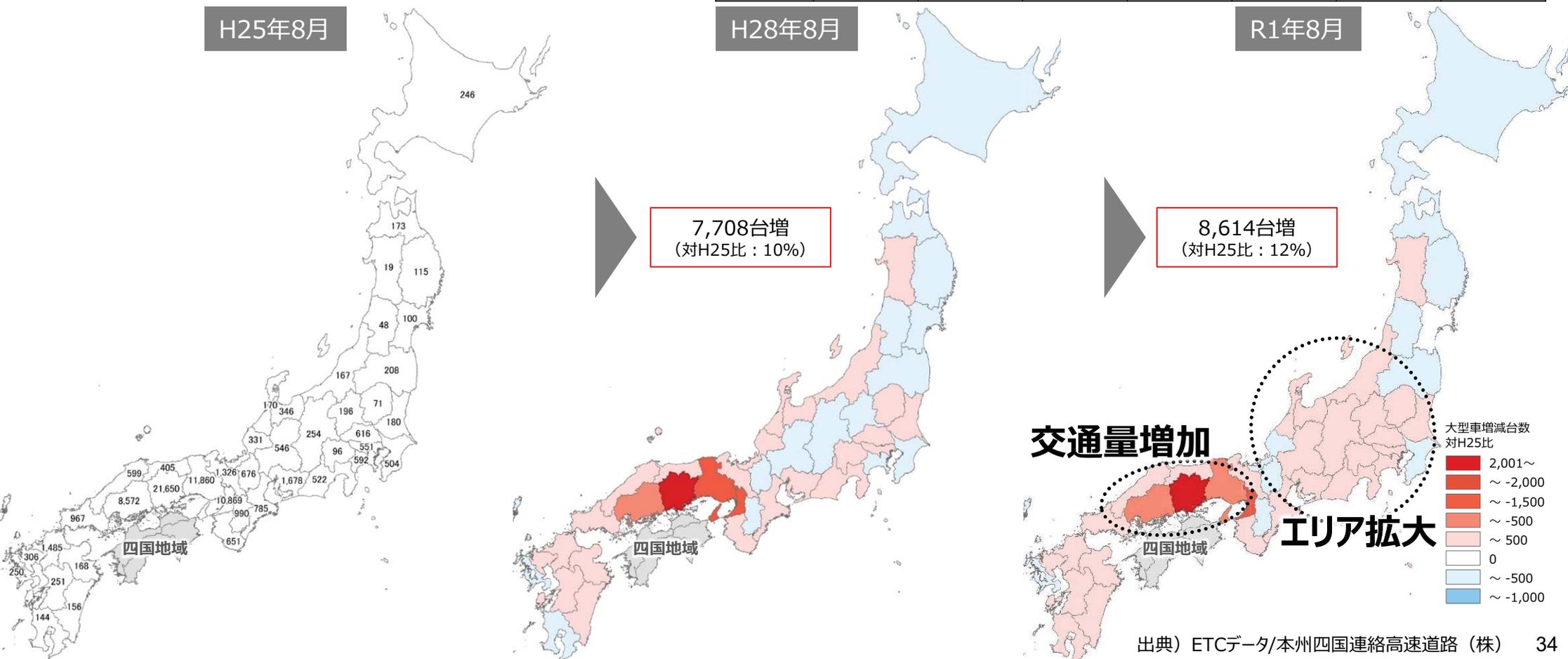


# 【産業】四国地域に流入する大型車（バス+トラック）の発地変化

- 四国に流入する**物流交通**の車両台数は、**岡山県、兵庫県、大阪府、広島県**が多く、更に流入車両が**増加**
- 中部**地方、**関東**地方まで**エリアが拡大、交通量増加**

四国に流入した車両台数  
 対象車両：大型車+特大車+中型車  
 対象年月：H25、H28、R1（各8月）  
 対象日：全日  
 登録ナンバーを出発地とする

	H25.8 流入台数	H28.8			R1.8		
		H28.8 流入台数	増減台数 対H25.8	増減率 対H25.8	R1.8 流入台数	増減台数 対H25.8	増減率 対H25.8
大阪府	10,869	11,870	1,001	9%	12,024	1,155	11%
兵庫県	11,860	13,068	1,208	10%	12,732	872	7%
岡山県	21,650	24,399	2,749	13%	25,137	3,487	16%
広島県	8,572	9,171	599	7%	9,435	863	10%
<b>全国</b>	<b>69,841</b>	<b>76,919</b>	<b>7,078</b>	<b>10%</b>	<b>78,455</b>	<b>8,614</b>	<b>12%</b>



# 総括

## 前目標設定に対する反省

- ◆ **分かりやすさを優先**した結果**高い目標**となっていた。  
目標（H25比 1,000万人増/7年） → 実績（H25比 370万人増/6年）

## 本協議会の多様な取り組みによる効果

- ◆ **全国の高速道路**における日平均交通量が**減少**する中で、**本四高速**の日平均交通量は**増加**。
- ◆ **多様な取り組み**により、R1まで**370万人の交流人口を創出**。



## 環瀬戸内海エリアの交流・交通特性

- ◆ 観光交流は**自動車交通が主体**であり、鉄道、航空機、フェリーが続く。
- ◆ コロナによる影響は、**観光は大、物流は小**。



## 次期目標設定・交流促進に向けた方向性



- ① 次期目標は、**実績を踏まえ、努力すれば実現可能な目標**を設定。
- ② コロナで最も影響を受けたのは「観光」。引き続き「観光」に力を入れ**「観光復興」**を進める。
- ③ 昨年度より新たに取り組むことになった**「産業連携（物流）」**は、コロナに負けない底堅さがあることからこれまでの取り組みを継続。

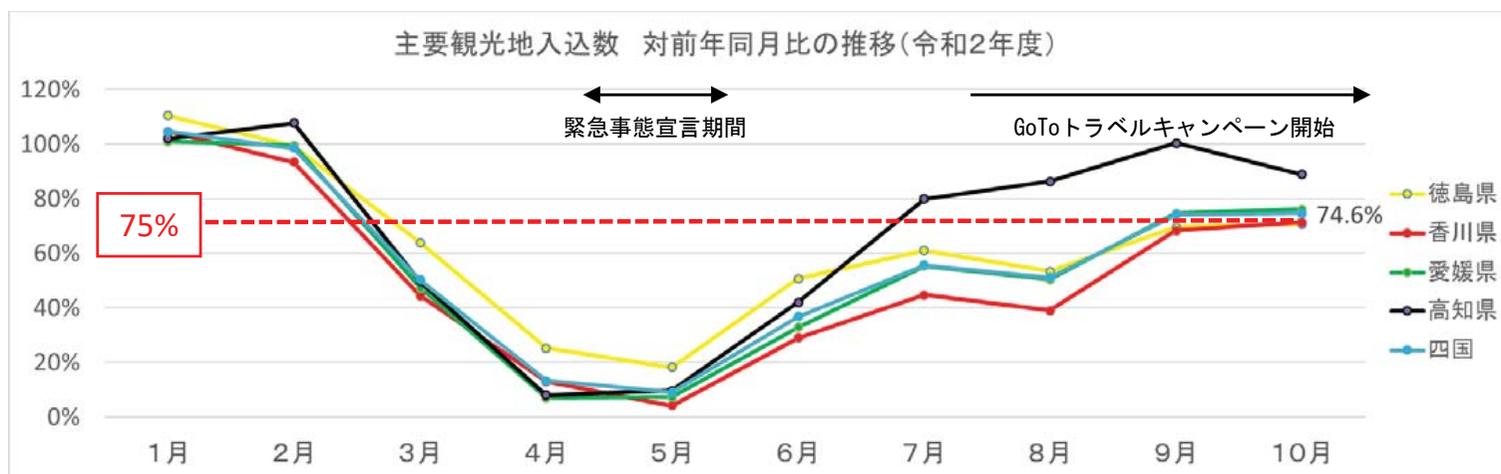
## ■ 交通特性を踏まえた交流促進に向けた取組【小型車】

小型車を対象とするならば、**観光事業の振興**やより一層の**観光の環境整備**が必要

- **観光事業の振興** ⇒ ・各県のGoToキャンペーン、NEXCOドライブパス  
・インフラツーリズム 等
- **観光の環境整備** ⇒ ・2次交通の改善、MaaS、道路ネットワーク整備  
・インパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信 等

## ■ コロナ禍における主要観光地利用者数の推移

・GoToトラベル(7/22～)で支援するものの、**10月時点で対前年比75%と前年並に戻っていない状況。宿泊者数についても同様。** ⇒ **コロナ禍の影響を踏まえた観光事業の振興**



出典) 四国運輸局より

## ■ 交流人口目標未達に伴うフォローアップ

- ・アンケート等から交通アクセスや情報発信の改善を求める意見が多い  
⇒ 「行きやすさ、帰りやすさ」「更なる情報発信」を推進

### ■ 観光客へのアンケート結果

- ・「交通アクセスをよくして欲しい」「2次交通事情の改善」「案内表示が少ない」「高速道路が少なく時間がかかる」「もっとPRして欲しい」等

### ■ 各県観光部局へのヒアリング結果

- 【課題】・2次交通が弱い ・圏内域の2次交通網が十分とは言えない ・通信ネットワーク環境が貧弱  
・観光地の情報が少ない（知らない）

- 【改善点】・道路ネットワークの整備推進・スマートIC、地域活性化ICの整備推進・SNS、HPによる更なる情報発信  
・案内標識の整備推進・MaaS

## ■ 観光需要の復興

### ■ これまでの取組方針の更なる推進（コロナ禍の影響による）

- ・各県のGoToキャンペーン、NEXCOドライブパス
- ・インフラツーリズム、広域周遊観光促進 等

### ■ 行きやすい、帰りやすい環境整備と更なる情報発信を推進

- ・2次交通の改善、MaaS、道路ネットワーク整備
- ・インパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信の工夫、多言語による情報発信

本協議会では、  
「観光需要の復興」  
と定義

## ■ 進め方

- 現在推進する取組や新たな取組について、各県等連携しながら改善を行いつつ、観光需要の復興を目指し、推進していただきたい。
- R3からの協議会で、復興に向けた改善内容等もお聞きしたい。

## ■ 交通特性を踏まえた交流促進に向けた取組【産業分野】

**大型車**を対象とするならば、より一層の**物流機能の強化**や**産業基盤整備**が必要

■ **物流機能の強化** ⇒ ・本四と接続する高規格ネットワークの拡充  
 ・SA・PAの大型車駐車マスの拡充 等

■ **産業基盤整備** ⇒ ・工業団地等の整備  
 ・地域活性化IC、スマートICの整備  
 ・県による誘致補助制度の創設 等

## ■ 環瀬戸内海地域交流促進協議会 設置要綱（抜粋）

・設置要綱第2条においても、「産業連携に向けた取組」は4項目の1つとして掲げている

## ■ 政策関連における視点

- ・東京一極集中型から**多核連携型の国づくり**への転換
- ・**サプライチェーンの多元化**（生産拠点の国内回帰等）

### 経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太方針）（令和2年7月17日）

政策項目	「新たな日常」が実現される 地方創生
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東京一極集中型から多核連携型の国づくりへ</li> <li>● 地域の躍動につながる産業・社会の活性化</li> </ul>
	新たな世界秩序の下での活力ある日本経済の実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>● サプライチェーンの多元化等を通じた強靱な経済・社会構造の構築</li> <li>・生産拠点の集中度が高いものなど国内外でサプライチェーンを多元化・強靱化</li> </ul>

### まち・ひと・しごと創生基本方針2020（令和2年7月17日）

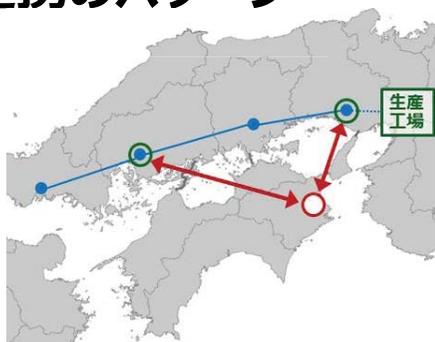
政策項目	地域経済・生活の再興
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雇用の維持と事業の継続</li> <li>● 交流、賑わいの再活性化</li> </ul>
	新たな日常に対応した地域経済の構築と東京圏への一極集中の是正 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 感染症の克服と危機に強い地域経済の構築（地方創生臨時交付金）</li> <li>● 地方への移住・定着の推進</li> <li>● 地域とのつながりの構築</li> <li>・関係人口の創出・拡大 等</li> </ul>

## ■ 産業連携

物流機能の強化や自治体による産業基盤整備を推進することにより高めた基礎体力をもとに、機運を逃さず交流促進に繋げていくことが重要

本協議会では、「産業連携」として定義

## ■ 産業連携のパターン



・瀬戸内海を越えたサプライチェーンの新たな構築や参画

例) プライムプラネットエネルギー&ソリューションズ《徳島県》  
(トヨタとパナソニックが設立した車載電池の共同出資会社)



・瀬戸内海を越えた商圈拡大に資する拠点を支援

例) ハローズ物流拠点《香川県》



・瀬戸内海を越えた生産拠点の広域的な誘致等

例) ショーワグローブ《香川県》

## ■ 進め方

- R3からの協議会において、これら産業連携の取組に主眼を置き取り組んでいきたい。
- 各県においても、県の政策や物流の流動実態等を踏まえ、事例の収集や県として強く推進する取組の整理をお願いします。